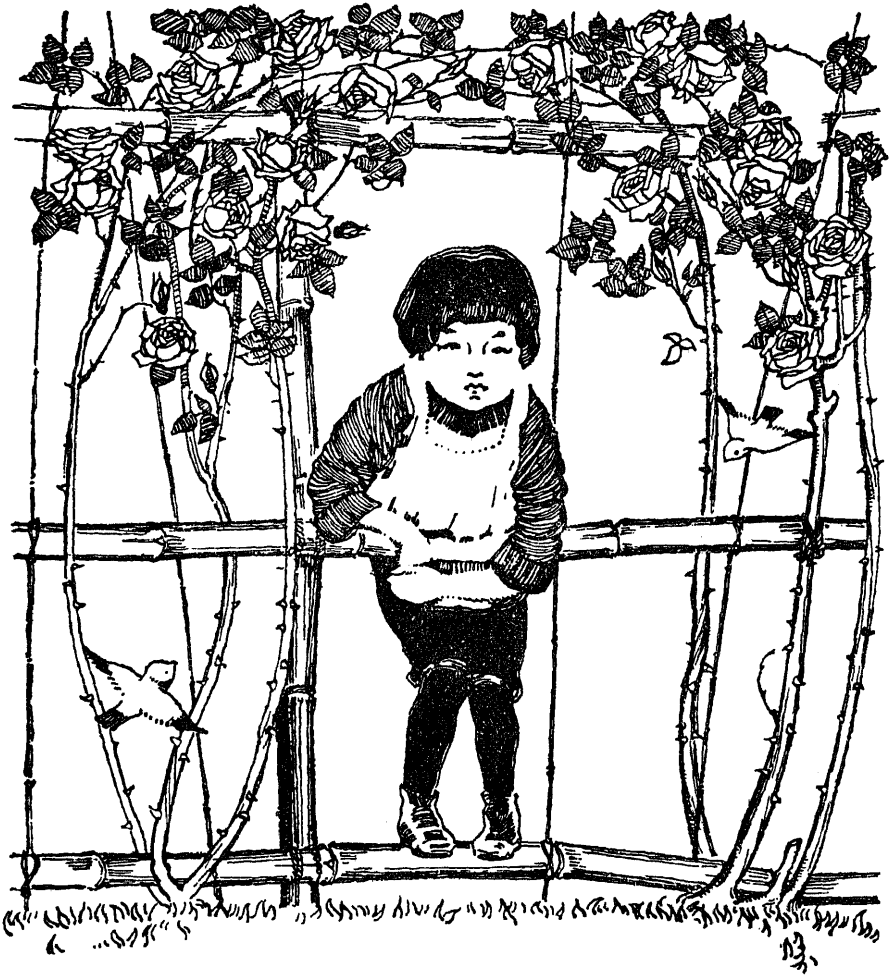


育教の兒幼

號 一 第 號 月 一 卷二十三第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼本日

日本文科大學內桐光會編輯 圖畫手工教育雜誌

縫裁・藝手・業作・業工

東京文理科大學內桐光會編輯

構成教育

創刊號(昭和七年)目次

▲祝辭……………東京文理科大學長 大瀨基太郎
▲昭和の教育(卷頭言) 東京高師教授 阿部七五三吉

【論說・研究】

▲勤勞教育の將來……………東京高師教授 阿部七五三吉
▲作業主義教育の實施と圖畫手工……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲木工教育の革新……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲圖畫教育の美術工藝教育……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲圖畫教育の美術工藝教育……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲圖案教育の重視……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲我國に於ける雙眸者の技能教育……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲催眠教授の工作……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲吾が校の工作……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲一學年に於ける樂燒工程……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲【教材解説】……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲第一の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲第二の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲第三の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲第四の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲第五の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲第六の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲第七の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲第八の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲第九の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲第十の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲第十一の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲第十二の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲第十三の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲第十四の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲第十五の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲第十六の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲第十七の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

▲第十八の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏
▲第十九の圖畫……………東京市立第一小學校長 齋藤金藏

十大特色

- 一、桐光會・東京高師圖畫手工の卒業生教育團
- 二、圖畫手工の先づ此の理論と實際の研究を發表
- 三、工業作業の理論と實際の研究を發表
- 四、手藝裁縫・習字・造紙・造陳の技術を研究
- 五、新思潮研究・海外探訪・海外紹介・海外研究
- 六、教材解説・每號學年・別性別に各教材解説・實際教育家に必須の讀物
- 七、實験家の師友・實際教育家に必須の讀物
- 八、讀者の雜誌・其の體験の投稿・其の體験の投稿
- 九、造形教育・新構成・歡迎・歡迎
- 十、東洋圖書・發行・權威・權威

定價と會友

- 一、雜誌・一冊金參拾錢
- 二、會友・一年參圓の會費と共に「桐光會」(東京文理科大學內)へ申込み(學校名・職名を要す)は雜誌無料贈呈。

兌發

東洋圖書株式會社

東京大阪

東京市神田區神保町一丁目番〇 地番一〇 振替東京一三〇番七三番
大阪市南區安土町一丁目番八二 地番二五 振替大阪三九五番六番

謹んで昭和第七年の
新正を賀し奉る

昭和七年一月元旦

日本幼稚園協會

役員一同

生徒募集

一、本科 七十名

一、研究科 若干名

右募集ス

出願期日 三月一日ヨリ三月廿五日迄

規則入用ノ方ハ二錢切手封入申込マルベシ

東京市外大井町原五二〇八

東京昭和保护養成所

所長 土川五郎

顧問兼講師 倉橋惣三

生徒募集

本科生 四十名
研究生 若干名

願書受付三月廿日迄規則書
は貳錢切手封入の上申込ま
れよ。

玉成保姆養成所

所長

ソファヤ・アラベラ・アルウ井ン
東京市外高井戸町中高井戸一三三
省線西荻窪下車直南約五丁

創立以來十六年。

大正五年東京市麴町區に創立。

昭和二年武藏野の中なる現在地に新築、
附近に森あり、野あり、川ありて四時自
然の恩恵を受け、本校の特色とする自然
觀察、博物採集、圖畫寫生、自然物應用
の手工等材料豊富なり。

保姆生徒募集

一、募集人員 六十名 (但シ來四月入學セシムルモノ)

一、修業年限 一ケ年

一、出願期日 來ル三月中

右規則御入用ノ方ハ郵券二錢封入御照會アレ

東京府下 落合町下落合一三八八

目白幼稚園保姆養成所
所長 和田 實

（新幼稚園唱歌）

エホン

ハルノマキ
ナツノマキ
アキノマキ
フユノマキ
——刊續

定價金各三十五錢
送料 金四錢
伴奏樂譜付

ニホン デ ハジメテ
デキタ エホン シヤウカ

東京音樂學校內

日本教育音樂協會編纂

シヤウカ

新尋常小學唱歌

第一學年用
第二學年用
第三學年用
第四學年用
第五學年用
第六學年用
完成!!
定價各冊金拾貳錢
送料金各二錢
內容見本無代進呈

●新尋常小學唱歌伴奏及解說

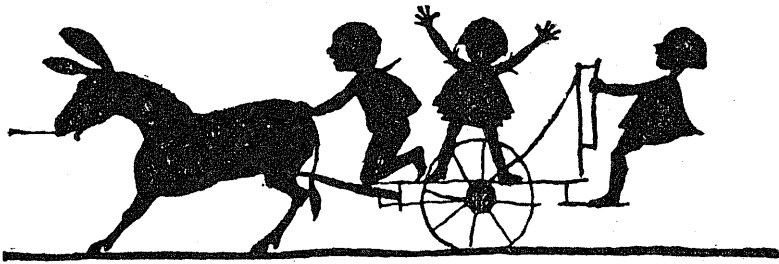
文部省檢定濟 昭和七・一・一四

第一學年用
第二學年用
第三學年用
——既刊
第四學年用
第五學年用
第六學年用
——續刊
定價各冊金六拾錢
送料各六錢

發賣所

音樂教育出版協會

東京市神田區仲猿樂三〇番
振替東京四七四七〇番
電話九段二五八二番



育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會長

東京女子高等師範學校長

吉岡郷甫

主幹

東京女子高等師範學校教授
附屬幼稚園主事

倉橋惣三

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼児教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼児教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ融出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ク
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
 - 一、幼児教育ニ關スル研究及ヒ調査
 - 一、幼児教育ニ關スル講演會及ヒ講習會ノ開催

- 一、雜誌發行(毎月一回)
 - 一、幼児教育ニ關スル圖書刊行
 - 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
 - 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 - 會長 一名 會務ヲ總理ス
 - 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
 - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
 - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ス
 - 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
 - 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ケ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
 - 第十二條 本會ハ必要ニ應シテニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
 - 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス



號一第 育教の兒幼 卷二十三第

—(次 目)—

| | | |
|-----|------------------------------|-----------|
| 口 繪 | 親 切(卷頭言) | 倉橋惣三 (一) |
| | いゝ子を語る—幼稚園座談會 | (二) |
| | 私の幼稚園—詩と繪と踊り合作の卷 | 水島さゆり (一) |
| | 明治初期に於ける幼児教育機關—寺子屋 | 新庄よしこ (三) |
| | モンテッソーリ—幼稚園—in イタリー—國ミラノ | 宇佐美けい (三) |
| | 幼稚園の觀察 | 岡崎常太郎 (三) |
| | 聞かせる唱歌について | 和田 實 (三) |
| | 入學前の幼兒について | 及川ふみ (元) |
| | 高女五年生の教育學答案から | 大塚喜一 (四) |
| | 世界人形行脚記 | 高市次郎 (四) |
| | 冬の自然觀察 | 堀 七 藏 (五) |
| | 赤 い 實 | 大 岩 金 (五) |
| | 「大賣り出し」あそび | 神原きく (六) |
| | 遊戲お餅つき | 土川五郎 (六) |
| 雜 錄 | 東京女子高等師範學校保育實習科生徒募集「保育研究」の創刊 | (七) |

東京音樂學校內 日本教育音樂協會編纂

新尋常小學唱歌

第一學年用
第二學年用
第三學年用
第四學年用
第五學年用
第六學年用

定價各冊金拾貳錢

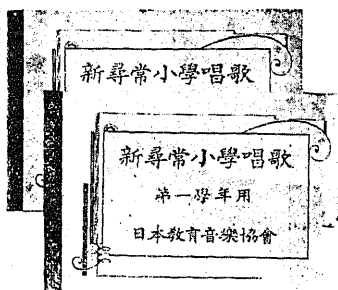
送料各二錢

內容見本無代進呈

文部省

檢定濟

昭和七・一・二四日



新時代の兒童生活に即したる新しい唱歌集！

作歌作曲には現代一流大家の全部を網羅！

各卷全十五曲何れも特別委員會の一粒選り！

新鮮にして重厚・教育的にして然も藝術的！

新尋常小學唱歌伴奏及解說

第一學年用
第二學年用
第三學年用

定價各冊金六拾錢

送料各六錢

既刊

第四學年用
第五學年用
第六學年用

續刊

發賣所

東京市神田區仲猿樂町三〇番地

音樂教育書出版協會

電話九段(33)二一八七・三一八九一
番
振替東京六四七七〇番



まづあけまして

おめでたうございます

ドンコドンく

ドンコドンく

——日本大學幼稚園にて——

幼 児 の 教 育

昭和七年一月

親 切

幼児保育の要諦を一語に盡すものがあれば、それは親切である。親切のないところに、保育の理論も経験も、工夫も上手もない。その反対に、親切のあるところ、一切の缺陷も、つまさを覆ふて餘りある眞の保育が實現する。

親切とは相手に忠な心であり、相手の爲に己を傾け注ぐ態度である。相手から求められない前に、その求むるところを見つける目であり、聞きつける耳であり、更に、常に懇に行き届く心であり手である。

理論がよく分りませんでいいひ、経験が足りませんでいいひ、氣のつかない性分でもいいひ。その實は親切が足りなかつたのではあるまいか。少くも、一點、不親切がまちつてゐたのではあるまいか。

他の不十分は自ら恕する途もある。不親切だつた時、ごこへ向つて自ら言ひ譯しやう。況して、私達の親切を信じきつてゐて呉れる子ども達に對して。——私達は屢々自らぞつみする。

る語を子ゝい

(會談座園稚幼)

のじふ池菊・こじよ庄新・みふ川及・三惣橋倉
のそ島小・子露上村・子孝久徳・くき原神

倉橋 今日、「組のいゝ子供」の話をしま

せう。いゝ子供なら七福神どころか八福神くらゐはありませうね。まづ始めに、

及川さん、ごうです。

×

及川 さあ、誰にしませう。たんこあつて。

小島さんいかゞ、Tさんはいゝ子だと思ふけぞ。

小島 本當にさうで御座いますね。

倉橋 男の子ですね。

小島 朝なごおへやに入つて来て、「お早やう」つて丁寧におじぎをします。

及川 仕事にねばりがきてもあります。

倉橋 そのねばり強いつていふのは他の組にもありますか。

新庄 御座います。

及川 體もいゝし、運動もよくするし、倉橋 ねばり強いこは仕事を根氣よくする

こごですか。

及川 それだけでなく、誰かゝ仕事をやつて居るから仕事をするこいふのでなく、

他には關はず又やたらに他から動かされないので一生懸命にします。仕事の途中でフーツミ消えて行くこごはありませ

ん。割合子供には途中で消えて行くこごが多いんですけぞ。仕事も道具も出し放して行く子がね。

倉橋 根氣強いつていふのは、かなり根本問題ですよ。

及川 體がいゝせいもありませう、いらなごちつこもしません。やたらに讀めるようですけぞ、運動をよくしますが亂暴ではありません。うちでは亂暴だこいふこごですけぞ。

倉橋 自分で仕事をやり出して行くこごもありますか。

及川 ハー。

倉橋 與へられた事をするだけでなくて。――新庄さん。お次はいかゞ。

×

新庄 私の方、今のところあんまりみんないゝ子で、一人だけ取り出せませんわ。組を大體二つに分ければ、女の子の方が、餘りいゝとは思はれません。男の子の方は誰とは言へぬ程よろしいのですが、一人の子供でなくてもよろしく御座いませうか。

倉橋 でも假りに、具體的に誰の様なこいへば……。

新庄 今の組では同じやうによい所をもつ子が多いので一人をぬき出すことは、一寸、出来かねますが、ずつこ以前から思ひやりがあるかないかを調べて見たんですけぎ、思ひやりの氣持をみんなが、相當に持つて居るのが分りましたの。Tは思ひやりのこゝろをかばふ云つた方が強いものですから、一寸思ひやりの例には變ですけぎ、あの子は外の子がいぢめられたり、泣いたりして居るこ飛んでいつて助けます。思ひやりが度を過ぎるせ

いか、それでその相手方をいぢめてしまふので皆から暴君の様に思はれてゐるのです。

倉橋 まあ、あれですか、正義心義侠心の俠客のような

新庄 さうでせうね。ちつこも不斷は目立ちませんが、何か、一人で出来ないような子供に、「してあげませうね」つて言つたり、紙なごない時には自分のをやつたりしますの。

倉橋 男の子は案外やさしいものでせう。僕の如く(笑)

及川 先生に感化されたのでせうか。

倉橋 一體に、思ひやりやさしみつてものは、形に現れる又現はれないにしても、心もちの問題ですが、それは割合にあるでせうね。

及川 かばふ方はうまくやらないと暴君的に裁くやうになりますわね。私の組の子でも、「Tさんにいひつけてやる」つてよく申しますから、私「Tさんに言はなくてはいいぢやないか」つて言ひますわ。

新庄 敵を打つ方を強くやるのでせうね。

倉橋 一體に、講談物に出て来る俠客親方になつてゐるん

すか。

新庄 始めは力が有り過ぎるのでみんなに立てられたんです。

倉橋 矢張り俠客が、はじめは社會的に立てられてはるませんが、弱者に對する熱狂性でやつた結果認められて行くのです。實力が無い時はいわゆるやさしいといふ所で終りますが、力があることになるが頼みます。

新庄 Tさんを先に持ち出すと思ひやりの例には一寸合はなくなりますが、一人づゝ考へるご何の子にもかなり思ひやりがあります。別にいゝ子ごか何ごかご取り出しては申せまん。

倉橋 村上さんの方には？

×

村上 男兒のSさん、本當に子供らしいといふので一番いい子と思ふのですけ。こても氣持がやさしいんです。例へば朝なんか小鳥の居た時なご「小鳥ちゃんお早やう」ご一人で話して居りますの。お晝食前ひるめしに私がお掃除してますご、僕ジョロ持つて來てあけるごか、ゴミを

拾つてくれるごかよく手傳つて呉れます。一寸見るご亂暴です。口重で何ごか口で辨解出来ない時は手が出ます。深く見て居れば皆さんいゝ子だごいひます。仕事をよくしますが、結果を早く見たくて少し亂暴になりますご、顔を見つめるごこても可愛いゝんですの。

倉橋 まあ、思ひやりの先の子ご共通な所もありませうが心の感じが細かい、デリケートなんだね。見た所亂暴のようだごいふのは頼もしい。デリケートごいふのは見た所で、よくセンチメンタルな所が出るものだが。

村上 一日中外で積木を引き廻して遊んで居ります。

倉橋 小鳥ご貴女に對しては大分デリケートのやうですが、友達ごはごんなです。

村上 友達を特にかばつたりするごはありませんがやさしいんですの。

倉橋 かばふごいふのはやさしみの中に積極味があるんだが、その子はやさしみだけが出る。積極的にやさしみが出る。心の感じがやさしいんでせう。桃太郎のような子ですね、氣はやさしくて力持ち……(笑聲)

菊池 あの家の子はやさしいのね。兄さんもさうでした。

倉橋 新庄さんの方の思ひやりの子Tさんはやさしみの方はさうです。

新庄 思ひやりの方だけ調べたんですの。調べたのですけ
ごそれ程はつきり頭に残つて居りません。

倉橋 思ひやりは、やかましくいへば、センチメントで複
合的感情です。やさしみの方は簡單状態です。弱い方が
いぢめられて居る、かはいさうださういふ感情へ、それが
不合理ださういふのが積極的にまざるこかばふ。新庄さん
のお調べは面白さうですが、ごんな形で思ひやりは出ま
したか。

新庄 思ひやりは度々出ては來ませんが、かなりはある、
のが分りました。思ひやりの全然ない子にはさう感じる
ものかみたいと思ひましたの。

倉橋 村上さんの方の子供は、段々Tさんの様な俠客的な
傾向は出ませんか。

村上 さういふ事は致しません。

倉橋 新庄さんの方のミ村上さんのミはいゝ對象だ。子供

にもいろ／＼あるでせうね。或る子がいぢめられるミす
る。その子にやさしみを感じてそれで一ぱいの子、泣く
なくミいたはる、或は遠くからハラ／＼して居る子、
或ひは、思へば彼奴が居るから斯んな事になるのださう
ふ方に積極的に氣が動く子もある。大人にも斯の種類は
ある。所謂やさしいミ名付けられるものには、悪くする
ミ、センチメンタルな傾きが出ます。そこが問題です。
村上さんの子供は元氣活潑だから心配ない。積極的な子
供は、そのうちに、原因を調べずに「よし引き受けた」ミ
安請合する田舎親分になる方のおそれがある。併し、冷
淡ミ無頓着に比較すればいゝ。

新庄 喧嘩になつた時には出て行くものだミされて居る
ようです。

倉橋 いわゆる、やさしみの全然ない野次親分ミは違ふ。

及川 小さい組が入つた時には、相對的ではなしに可愛
いがるんですね。いぢめられて居るから、ではなしに可愛
いがつて遊びます。女の子は特にね。

新庄 Tさんは、そんな風でゐて又、お休みして少し何か

がはつきりしない子、遊戯なごみん様の様に晴れやかに出来ないミ、傍へ行つて、肩に手をかけてやつたりします。そして一緒に歩こうします。それは思ひやりでせうね。

倉橋 さうく。

新庄 Tちゃんには社交性もかなり發達してゐると思ふのですが。

倉橋 社交性の發達ですがね——。村上さんの方のようなのはセンチメンタルになるくらゐだから社交性ではない。やさしいミいふ氣持を心理學者が分析すれば（心理學者ミいふものは惡魔の子ですけ）弱い者に對して向ふの弱さに感じて起るだけの純粹な感情ミ、その時自己が認識されるのです。強い者に打つかつた時に自分が認識出来る場合ミ、弱い者に打つかつて自己に満足出来る場合ミがありますが、弱い者に打つかつて満足できるのは社交性ミは反對になります。強い者に打つかつて行く場合には、全體に社交的です。

徳久さんの方のいゝ子はさうです。

×

徳久 Mですが、頭もしつかりして居ります。出来る迄一生懸命に仕事をやります。全體に眞面目で、決してフザけない。遊ぶ時は元氣です。少し氣が弱いのがやないかと思ひますが、氣持が從順でやさしいのです。

倉橋 さういふいゝ子はみんなからさうです。

徳久 好かれて居ります。

倉橋 同年齡の子の中で認識尊敬してゆく力はあるものですね。

徳久 仕事も出来るので認められて居ります。今一人、Hですが、能力は今の所特に秀でて居るミは思はれませんが、氣持が非常に明るくて人なつつくくて、

倉橋 一體に能力ミ善良な性質ミは一致しますか？大きなミ頭のあるものは修養するから違つて來ます。

新庄 私の組では一致して居ります。私幼稚園に参りまして以來、こんなに揃つた子供を持つたのは始めてですの。

倉橋 先生も、教育家としての技倆御上達は非常なもの。

(新庄氏はやさる)

新庄 有りがたう御座います。(笑)

倉橋 いゝ子は幸だ。

及川 修養したんでもありますまいしね

倉橋 いゝ事をいふね、

新庄 及川さん、しんみり仰つたわね。

及川 やつぱり、そこへ来る迄のいろんな事が原因するわね。

新庄 さあ今度は神原さん、あなたおつしやいよ。

×

神原 私の組のいゝ子、又男の子ですが、

及川 ほんまよ、ぴつたり合ふのは男の子ですね。

倉橋 エヘン、ミこころで——。(主事大いに威張る)

新庄 おやく

及川 いえく男ぢやありませんよ、男の子ですよ。(笑)

神原 いゝ子つて主観になりますね。少し亂暴だミ見る人もありますが、それは元氣の餘る所ミ私は思ひます。K
なのですが、能力の方は非常によろしいのです。自分で

遊びや製作をやり出すのが得意ですが、みんなミ一緒に遊べますから、何時でも愉快に過して居ります。

倉橋 人にやさしくしますか。

神原 特別に、やさしい所つて見ませんけき……。不斷ちよいく人をかまひますが、よく強がりの子が他の子にやるのミは違つて、軽い意味のフザケだミ思ひます。楽しく生活して居るこいふ點からいゝ子ではないかミ思ひます。

倉橋 さういふ子もあるでせうね。自分が不愉快にして居れば他人も不愉快でせうからね。こんどは菊池さん。

×

菊池 やつぱり男の子ですが、人ミの關係では、やさしみ

デリケートだミは思ひませんが、ミてもよく遊びます。

さつぱりした子です。仕事の方はもつミ他によくする子が居りますが、遊びに没入して居ります。人ミつき合ふ時コマくミ告げ口や干渉はいたしません——。

倉橋 えらく超然でもなく？

菊池 相當力もあります。先日新庄先生の方のTちゃんミ

やり合つてました。小さい組ですのね。感心しました。自分がいぢめられる道理はないと思つて有りつたけの力を出して戦つたんです。不斷ちつともそんな風には見えませんが。仕事の方では、入園當時はもぢや／＼の繪をかいて居りましたが、伸びさうな氣がします。兄達もさうでしたから。遊ぶ様子がさうです。

倉橋 明瞭に分るために、その反對の子を考へて見て下さい。

菊池 村上さんの方のSさんは、悪い意味でなく、反對です。

×

及川 いゝ子は、みんな健康ですね。

新庄 さうですよ、Tちゃん、林檎は一時に二つ、バナナは三本位いただきますのよ。

倉橋 だからアップルアップル(アップルアップル)二つ言はなくちや。(笑)

菊池 御飯をすつかり食べます。

倉橋 矢張り、性情がいゝつていふのは内臓からいゝんで

すね。人格もいつたつて胃腸腸格もいゝんですね。

及川 健康な時は胃や腸がどこにあるかを意識しませんよ。

倉橋 子供だつて氣分の悪い時もあらうから。

及川 皆さんが今仰つた人達、血色もいゝわね。

倉橋 女の見るいゝ子は、さうかするに、病的ではないけぞ、百パーセント健康でない所に、軟弱美・纖細美・病的美の上げられる事があるが、皆さんの目は流石に高い。

×

倉橋 その人達の生れ順はさうです。長子ミカ獨りつ子ミカ。

及川 私の方のは姉さん二人、弟が一人。

新庄 まあしばらくTちゃんはいゝ子の中に入れないで下さい。

村上 Sさんは兄一人、妹一人、

徳久 長男です、妹が一人。

神原 Kは長男で、弟三人、妹一人、

菊池 兄二人、妹一人。

倉橋 この五六人の數で結論は出せませんが、いゝ子には

能力も随分關係ありますが、能力の方はむしろ遺傳ですが、總領が利巧でないゝすれば親が成熟してなかつたゝか生理的に説明されます。性質の方は多分に生後の家庭生活の状態が關係して來ませう。その中にも兄弟の影響は大いにある筈のものです。別に研究したわけでありませんが。——今日は偶然、長男が二人あつたわけですね。

×

倉橋 組にリーダーが居りませう。一人か二人か。そのリ

ーダーシップは今の子ゝの關係はさうですか。

及川、菊池 リーダーになりませんわ。

倉橋 リーダーは他に居るわけですね。先生のいゝと思ふ子必ずしもリーダーでない。

徳久 リーダーになる人は暴君のようですね。

菊池 私の方のリーダーはIさんですが、人がよくて立てられて居りますわ。

村上 及川先生の方はリーダーはKさんですね。

及川 遊ぶ時になるゝ、Kの様な小さい子にみんなヒョコ

く從つて居ります。何んなわけか思ひましたが、大きい組になつて、テスト式にやつて見ました所が、實力もあるのです、只遊ぶ時だけの大将ではないのです。

倉橋 此前の座談會の幼兒の社會生活問題から研究的に

つゞくのはリーダーの問題です。これは直接にはその子の問題ゝいふよりもこの年齢に於ける人物批判の標準ゝいふものゝ研究ですね。アメリカで大統領になれる人が、南洋で大統領になれるかさうか分りません。大人が見てリーダーと思はれる人必ずしも子供の中のリーダーにはなれません。前の大人の見たいゝ子がリーダーになつて居ないのは、子供の低級観だけでないかも知れません。大人には見付からんものがあるかも知れません。そこで、そのいゝ子供は段々に判つて來るのでせうが、幼稚園に入つた時から持つて來るんですね。

及川 さうで御座いますよ。

倉橋 遺憾ながら及川先生の教育力が入つてはゐらないのですか。(笑)

菊池 私の方のは、始めはそれ程いゝ子ゝは思ひませんで

した。

新庄 私の方の一人の子が、夏休み迄は何かがはつきりしなくてお母さんも心配して居りましたが、二學期頃からぐつこよくなりました。今迄は、これで小學校へもうまゝ行かれるか心配して居りましたのに。氣がついた始は大變に動作が亂暴になつたさいふ事に氣附きました。元氣が出たなと思ふうちに、ぐつこ仕事が変わつて來ました。

倉橋 さういふ變化はまゝある事ですか。

及川 ありますね。或る時期にすつこ伸びます。

新庄 さうしてその子だけさうなつたのか不思議なんですけ。

及川 大きい組になるこすつこ伸びて來ます。

倉橋 上級生ですね。そこらに、そんな時期があるのかも分りませんね、青年期になる前に發達がジャンプしたりするように。これで幼稚園にはいつて悪い方に變るこいふやうな子は無いものですかね。

新庄 それはわるくならないようにしよつちう氣をつけ

て來たからぢやないでせうか。

倉橋 恐れいりました。(笑)

及川 先生の「就學前の教育」の第一頁にありますね。就學は學齡からこ誰がいはせしこか」こ。この變化の時期さちやんこ合ふから感心しました。

倉橋 誰が實驗心理學的に割り出したのか分りませんが、よく當てゝ居ますね、えらいものです。

新庄 古い本を調べますこ、寺子屋でも數へ年の六月六日に初めて寺入りするこ手が上るこいはれて居るさうです。

倉橋 世界中ですね。

菊池 悪い子供でも、その時期になつたら……こ楽しみにして待ちますわ。

倉橋 注意して居るから悪くならないこ同様に、よくなる方へ持つて行くこもあるでせうね。幼稚園効果が其處へ蓄積するように。菊池さんは小さい時から待つて居るさうですが、その中おたのしみですね。幼稚園教育の効果は何も何十年後を待たなくこもいゝんですね。

菊池 幼稚園の蓄積期は今始めて伺つたんですけき、お互の影響がありますからね。

倉橋 いやさうも御謙遜で(笑)

×

倉橋 所謂の長所でなしに——大人の場合に適用しても

立派な値打あるものを長所さしないで——子供らしい無邪氣・單純・朗らかなぎに於て、子供により區別がありますか……。これは子供に普遍的なものでせうね。

これ等の子供獨特のえらさで見た時に、多少、特にあの子は斯うださいふ區別はあるものですか。今日廊下でね、棒をかついで(鐵砲の積りでせう。)行く子の棒の先を一寸押へたら後に居た子はそれを見てゐたのでしたが、何さもない朗らかに笑ひましたよ。あの朗らかなさは僕には出ないと思つた。空虚な笑ひさいふのが文學にありますが、笑ひそのものとして、空虚なのは悪いんだが、その子のは笑ひそのものだけで他には何にもない。天空快活他には何にもないバーッ出た笑ひだつた。斯ういふ點も子さによつて差別がありませうか。

及川 たまに、ぢいさん見た様なのがありますね。

菊池 私の方に時々讀めていたゞける子があります。顔も氣持も無邪氣です。

新庄 思つた通り、子供が行動して居るのこは違ふんでせう。

倉橋 一寸ちがふ。純粹の金は、まざつて居ないだけで無く、金一ぱいの所がある、いゝ水は蒸溜水のようにではなく水一ぱいの所がある。えらいものですな。——こに角皆さんはお幸福しあわせですね。多勢のいゝ子の中にいらつしやるんだから。これくらゐにしきませう。

(神原筆記)

「童話研究」——人形劇特輯號——

「童話研究」一月號は人形劇に關する有益なる研究ミ脚本ミを滿載。此の問題に興味をもたるゝ方におすすめします。

私の幼稚園

—詩と繪と踊り合作の卷—

水嶋 さゆり

一

園長亡き母の寫真に見入つてゐる。眉を落して古風な小さい丸髻を結つてゐる母の面影をつくつく眺めて涙ぐんでゐる。時雄勝手口から駈込んで來る。

時雄「水嶋さん、これお母さんのお土産だよ。」

ボンボンミキヤラメルミ蜜柑を持つてゐる。

時雄「二人で食べようね。」

園長寫真から眼を離さず、黙つてゐる。

時雄「それ誰？ 水嶋さんのお母さん？、随分お婆さんだね。僕のお母さんまだ若いよ。」

園長「僕の母さんまだ若い。童謡が一行出來たのね、あゝ附けて御覽なさい。」

時雄「僕の母さん、まだ若い、

大きな丸鬚結つてます。

何でも呉れます、よい母さん、

時々お乳にさはります。」

園長「アハ……うまいく。」「時々お乳に觸ります。」「つて時雄さんのお乳にお母さんが觸るの?。」

時雄「ちがふよ、時雄がね、時々お母さんのお乳に觸るんだよ、誰も居ない時。」

園長「私も大きくなるまで、よくお母さんのお乳に觸つて見たものだ。も一度お母さんのお乳に觸つて見たいなあ。」

時雄「水嶋さん、それ童謡に作つて。」

園長「も一度おつばい飲みたいな、

母さんねんね言ひたいな、

母さんお墓にいきました。

お墓の石になりました。」

時雄「何だか悲しいや。」

園長「私も悲しくなつちやつた。さあお母さんのお土産御馳走になりませう。」

時雄「うん、食べよう。」

園長「ボンボン食べりや、

お腹の中で、太鼓がボン、ボン。

時雄「キヤラメル食べりや、

お腹の中で、車がキヤラメル、キヤラメル。

園長「蜜柑を食べりや、

お腹の外でお臍が呼んだよ、ミカーン、ミカーン。

時雄「お臍が呼んだら、

お腹の中で、みんなが言つたよ、キカーン、キカーン。(園長時雄に助力)

二

園長「お母さんから田舎の話聞いたの？」

時雄「聞いたよ、田舎の小母さんミこね、田圃の中の一軒家だつて、そいでね、夜になるミ狐がね、ミん、ミんミ雨戸を
 敲くんだつて。」

園長「狐が雨戸を敲くんだつて？、面白いね。一つ繪に描いて見ないの。」

時雄、鉛筆を執つて、田舎の一軒家を描く、園長空の月を添へる。時雄狐が描けなくて困つた顔する。

園長「その空いてる處へ童謡を書いたらどう。」

時雄餘白の一隅へ次の様な童謡を書込む。(繪省略)

ほつんミ ひこり お月様、

ちよこんミ ひみつ 一軒家、

小鳥もねんね、

にやあにやもねんね、

みんなおねんね、

おもては寒い。

(最後の一句園長の附加)

園長「うまいね、大きい聲で節を附けて讀んで見ませう。」

時雄大きな聲で朗讀する。續いて園長歌つて見る。

時雄「水嶋さん、狐描いてよ。それから狐の童謡作つてね。」

園長別な紙に一軒家を描き、狐が雨戸を敲いてゐる圖にする。それに雨を數條引いて、次の童謡を記す。

(繪省略)

こんこん狐

雨夜の晩に、

雨戸をしめりや、

こんこん狐が、

雨戸をたたく、

この戸をあけてミ、

こんこんたたく。

たたくお狐、

おうちは遠い、

うちにやだあれも

待つてない。

雨にや濡れるし、

おなかはすくし、

こんこん狐が、

雨戸をたたく、

この戸をあけてご、

こんこんたたく。

三

「時雄さん。」

隣の春ちゃん、玉ちゃん姉妹が這入つて来る。

時雄「いらつしやい。水嶋さんここに居るの。」

園長「さあいらつしやい、春ちゃん、玉ちゃん、いい事して遊びましょ。」

春ちゃん「何して遊ぶの。」

玉ちゃん「あたしも入れてね。」

園長「ええ、みんなでしませうね。」

時雄「いろは歌留多ししょうか。」

園長「しませう。みんなでいろは歌留多を作りませう。」

時雄「犬も歩けば棒に當る。」つて作るの？」

園長「いの字から踊りの唄のやうなのを作るのよ。」

時雄「あ、こりやこりや。」

園長「いの字を作つて見ますよ。」

「い」の字が踊る、

因幡の兎が、ぴよん、ぴよこ、ぴよん、

因幡の國まで、ぴよん、ぴよこ、ぴよん。

時雄「今度は僕、

「ろ」の字が踊る、

櫓拍子揃へて、ぎつこん、こん、

大波乗越せ、ぎつこん、こん。

春ちゃん「あたしわかんないわ。」

時雄「は」の字が踊るつて言ふのさ。」

春ちゃん「は」の字が踊る。」

園長「花咲爺さん、花咲かしよ、

枯木に櫻、おゝ見事、あゝ見事。」

玉ちゃん「わたし何て言ふの。」

時雄「に」の字が踊るつて言ふの。」

玉ちゃん「に」の字が踊る。」

時雄「日本一の黍園子。」

園長「一つ貰つて、あうまい、おうまい。」

時雄「僕、日本一の方がいゝなあ。」

玉ちゃん「日本一はあたしのよ。」

園長「さあ、自分々々のを言つて御覽なさい。「い」の字から始めますよ。」

園長「い」の字が踊る、

因幡の兎が、ぴよん、ぴよん、ぴよん、

因幡の國まで、ぴよん、ぴよん、ぴよん、

時雄「ろ」の字が踊る、

櫓拍子揃へて、ぎつこん、こん、

大波乗越せ、ぎつこん、こん。

春ちゃん「は」の字が踊る、

花咲爺さん、花咲かしよ、

枯木に櫻、おゝ見事、あゝ見事。」

玉ちゃん「に」の字が踊る、

日本一の黍園子、

一つ貰つて、あうまい、おうまい。

園長掌大の四角な厚紙四枚に、墨で大きく、「い」、「ろ」、「は」、「に」の字を各に書き、絲を附けて銘々の胸に懸けさせる。尙各自に次の様な扮装をさせる。

「い」の字の園長——兎の耳を二つ作つて頭上に鉢巻で止める。

「ろ」の字の時雄——向ふ鉢巻、櫓のつもりで二尺指を持つ。

「は」の字の春ちゃん——頭巾を被つて、ちゃんくを着、笊を持つ。

「に」の字の玉ちゃん——日の丸の扇を持ち、刀のつもりで一尺指を帯に差す。

「×」字が踊る。「は」一同で合唱の事、二の句以下は各一人で歌つて、それぐの仕種を附け、快活に踊る事なき、園長が時雄、春ちゃん、玉ちゃんに一人一人丹念に教授する。

時雄「さあく、いろは歌留多の踊りのはじまり」。一、二、三。

一同「い」の字が踊る。」

園長「因幡の兎が、ぴよん、ぴよこ、ぴよん、

因幡の國まで、ぴよん、ぴよこ、ぴよん。」

兎のこなし宜しく、ぴよん、ぴよこ、ぴよんミ輕快に跳ねて踊る。

一同「ろ」の字が踊る。」

時雄「櫓拍子揃へて、ぎつこん、こん、

大波乗越せ、ぎつこん、こん。」

水夫の仕種巧みに、勇ましく櫓を操つて、ぎつこん、こんミ踊る。

一同「は」の字が踊る。」

春ちゃん「花咲爺さん、花咲かしよ、

枯木に櫻、おゝ見事、あゝ見事。」

にこく顔で、箆から灰を掴み出し、四方の枯木に投げ懸けるこなし有つて、足拍子面白く踊る。

一同「に」の字が踊る。」

玉ちゃん「日本一の黍團子、

一つ貰つて、あゝうまい、おゝうまい。」

桃太郎を氣取つて大威張り、日の丸の扇をさつゝ開いて、差したり引いたり、猿・蟹に黍團子を分配するこなしで踊る。
今一度始から繰返して、賑かに且歌ひ、且踊る。

時雄「は」の字が踊る、「へ」の字も踊る。」

團長「こ」の字も踊る、「ち」の字も踊る。」

春ちゃん「あたしも踊る。」

玉ちゃん「みんなが踊る。」

おもてをチンドン屋が囃して通る。

一同「ち」の字が踊る、

ちんちん、さんさん、ちんさんさん、

ちんちん、さんさん、ちんさんさん。」

(「は」の字以下他日合作の豫定)

明治初期に於ける幼児教育機關

— 寺子屋 —

新 庄 よ し こ

維新期を境界線として明治の時代となつてから、我が國は政治、軍事、交通、教育、各方面に亘つて着々進展の曙光が著しくなつて來た。誰もが持つところの傳統的精神で日本固有の風俗習慣をひたすら固守しようとする心持から、いくらかそこに人々の中には軽い、或はかなり強い反感はあるにしても、外國文明の潮流はかなりの根強さをもつて人々の心に迫つて來たのである。そこで所謂明治初期に於ける文明開化時代をつくつたのであるが、殊に教育上は明治五年學制頒布があつてから俄に學校が盛んになり、やがて官立幼稚園の創設云ふ運びになつたのであるが、この明治初期即ち慶應から明治にかけて幼児期の幼児に對しては如何なる教育機關があつたか。幼児期のこゝであるから家庭に於ける教育は、何時の時代でも重く見られて居るのでそれは別として教育機關をすれば、寺子屋が只一つあるのみ、然し、寺子屋を云つても幼児期の子供の爲にきて設けられたのではなく、むしろ少年期から青年期にかけての教育を受ける場所であるから、單獨明瞭に幼児のみの教育機關を稱することは出来ないものであるが、五歳、六歳、七歳の幼児がかなりの數をこゝに通つて居る事實から考へれば寺子屋教育の或る一部分に幼児教育機關が含まれてゐるを云つたやうな狀況なのである。云つても、子供の全部が寺子屋に通つたわけではなく、殊に上流の家庭では夫れぐの師匠を邸に招いて習字は習字の師に、讀

み書きはその師に云ふ有様、又下層社會ではたゞ教育に相當理解があつたとしても、子供を寺子屋に通はせるだけの費用を出すのは困るゝか、自分達のやうな下層の家庭の子供が教育を受けたところがやくにも立つまい、讀み書きは知らなくとも生活に不自由はあるまい云つた有様で遊び放題遊ばして置くのである。所謂野放し云ふ有様で、精神教育が出来ないばかりでなく、髪も梳らず、服裝もほろ／＼でもかまはない、たゞ／＼往來でつまらなく遊び過してしまふのが多かつたのである。然し寺子屋に通へばそこに師匠があつて、讀み書きは勿論のこゝ、訓練もかなりきびしく行はれてゐたのであるから多くの親は通はせたものゝ又通はせたいを希つたものである。

入學年齡

寺子(寺子屋に通つてゐた子)の年齡は、地方により又、時代によつて夫れ／＼一定しては居ないが、まづ普通五歳から十五六歳迄でこの中五歳、六歳、七歳の寺子がきの位居たか云ふを、百人に對して、

| | 男 兒 | 女 兒 |
|-----|------|------|
| 七 歲 | 二十人弱 | 二十人強 |
| 六 歲 | 六人弱 | 九人弱 |
| 五 歲 | 一人弱 | 一人弱 |

大體右の様な數になつて居てこの中でも七歳の子供はかなり多かつたのである。入學の時期は大體一定して居て、六月六日にはいるゝ手が上るゝ云ふならはして、殊に數へ年の六歳の六月六日に寺入りするのを最もよしとして心ある熱心な

親達は、是れ迄にいろいろの準備をしてわが子の寺入りをまつて居たのである。東京の下町なごは、六歳の子供が一番多く通つて居た云ふのであるが、入學期はちがつても大體その年頃が、幼稚園に通ふ頃と同じであるのも面白いことではあるまいか。次は二月の初午の日で、この日も随分澤山寺入りをした、東都歳事記にも二月初午の條に、此の日小兒の師匠へ入門せしむる者多しと書いてあり、「いの字より習ひそめてや稻荷山」の句もある。寺子屋の方でもこの日は寺子が新らしく来るであらうとて、平常の稽古は休んで寺子を待ち、又机、硯箱の商人や菓子店なごは、特にこの六月六日と初午の日は品物を多く用意したのである。然し、大體はきまり、云ふもの無く、入學退學は不定期且つ隨意にしてあつたのである。

始めて寺入りをするには、机、硯箱、筆、紙、墨の外に盲稿の上着が要る。習字が多いのでかうしたのであらう、又仲間入りの菓子なごも用意する。派手なところでは美しい着物を着て行くなごなく、初めての寺入りには費用がかかるので貧しくては出来なかつたのである。然し中には貧しい家の子でも、學問のない爲に不自由して來た事を痛切に感じた親も多く、殆んどが通つてゐたのである。

教科目

寺子屋は、特に幼兒期の子供の教育といふわけではないのであるからやはりいくら幼年でも讀み書きは必ずさせられたのである。然し寺子屋によつては、禮法とか、手工ミかを加へる所もあつた、手工ミ云つても幼兒にのみ課する純粹のものとは違つて、普通生活に必要な實用的なもの、例へば慰斗袋、手拭包、黄粉包なごの折り方、水引の結び方、手紙の封じ方、吉凶目錄の包み方、手本帖面のミぢ方等で又圖畫、手技に屬するものも授けられて居る所もあつたのである。

遊 戲

寺入りする子供達の年齢が、最も六歳の子が多く、七八歳から十五六歳位にすれば殆んどすべて遊び盛りの子供であるから遊戯なしには一日一時も居られないのである。寺子屋ではかなりきびしい師匠の監督の許に行儀よく座つて幾時間かを讀書に習字に過しては居るものゝやはり自然の要求に應じて子供は、自分で相當遊戯の時を見出して居る。中には遊戯の類を一切嚴禁して居る所もあるが、そんな所でも往還の道々に行はれたり、或は師匠に知れぬやうにするとか、自然の要求を抑へられたまゝでは居られなかつたのである。師匠によつてはこの邊をごくよく取あつかつて、あそびを織り込んでゐるものもある、例へば男の子は筆の鞘を細くさいて簾や垣根のやうなものを作つたり、武者人形、相撲取、紙鳶の繪をかいたり、女の子は、千代紙で紙人形を作るとか、草花、人形の繪なぎを描いて互ひに子供同志話し合つてまことにゆつたりミミやかな氣分の漂つた所もあつたのである。

遊戯の種類を舉げて見るに、

折紙、繪畫、人形造、切拔、紙細工、手工、談話等

であるのを見るに、幼稚園の保育項目に殆んど同じであるのも面白く、是等をみな「遊戯」にしてあつかはれてゐる所が寺子屋をよく物語つて居ると思ふのである。その外、

| | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|------|------|------|
| 相撲 | 鬼事 | 獨樂 | 手毬突 | 竹馬 | 隠れんぼ | 隠れ鬼 |
| お手玉 | 戦争遊 | 羽根突 | 輪廻し | 歌がるた | 雪なけ | 駈足 |
| 雪合戦 | 氷滑 | 綱引 | 毬投 | おはぢき | 徒競争 | ぶらんこ |

雙六、

指相撲、

盲鬼、

人形遊、

石けり、

まゝごこ、

陣取り、

あやこり、

縄ごび、

子取り、

繪本遊、

千代紙あそび、姉様あそび、

水遊、

貝彈き、

紙人形、

おぢやみ、

雛あそび、

いろはがるた、城取、

猫ご鼠、

雪だるま、

福引、

錢まはし、

商賣遊、

謎々、

是等は特に「遊戯」にして擧げられたる以外のもので即ち隨時隨所に行はれるところの自由あそびを見るべく。是等のあそびは現在でも各地方で行はれて居るもの、場所と時代とを超越して幼時時代のあそびは殆んど共通して居ることを知るのである。

又年中行事中

一月 書初

二月 初午祭、恵比須講

三月 上巳の節供

四月 釋迦佛誕日

五月 端午の節供

七月 七夕祭

九月 重陽

これ等のものに日に寺子達が集つて夫々の遊びをするのはまた楽しい事であつて、いつもは定められた教科目を勉強するのであるから幼い年頃のものにまつてはなかくむづかしい事であつたのがこの行事の日には、楽しい種々の催しに友達

同志が打ち興じてあそぶのはきれ程のよろこびであつたかわからないのである。

訓 練

寺子屋では訓練がなかくよく行届いて居たのである。大抵はそれのための書物が掲示してある。例へば

- 一、朝夕は必ず父母におじぎせよ
- 二、出入にも必ず父母におじぎせよ
- 三、通學の途中にあそびて遅刻するな
- 四、はな紙ミ手拭を忘れるな
- 五、自分のものは自分で始末せよ
- 六、教場に出でては師ミ友だちにあいさつせよ
- 七、紙・筆・墨をそまつに使ふな
- 八、顔や手に墨をつけぬやうにせよ
- 九、下駄、傘にはしるしをつけてまちがへぬやうにせよ
- 十、食事の時にはむだ口をきくな
- 十一、友達の衣服、持物を品さだめするな
- 十二、掃除はそまつにするな

又、

○顔のよしあし○きものゝよしあし、○家のくらしむきのよしあし○中くち○いつけぐち○みゝこすり○たかわらひ○男のうわさ○たんき○わがまゝのふるまひ○むだぐち

右は決してなすべからず。そむくものは七時迄止め置き候事

これなきは、ヶ條書にしないで○で區切りをしてゐる。

是等の心得を讀んで見るまゝこゝに平易に誰にも解り易く書いてある。訓練の方法についてはかなり嚴格であつたらうが、その主旨は決して時代によつて變つては居ないのである。始めの十二ヶ條は一つ一つが何れも大切なこゝであつて、現今でも是等は子供に嚴守させてよい事である。是等は修身の時間なごに特に話して聞かせるこゝ云つた形式上のこゝではなく、日常生活中に織り込まれて自然に起つて事柄についての心得賸ミ云つたものであるから取り立てゝの訓練でないこゝが幼いもの達にこゝつて適切な方法であると思ふ。是等は師匠その人柄によつて千差萬別であるが、幕府から是れに關しての命令が出てゐる。

筆道ノミナラズ、風俗ヲ正シ、禮儀ヲ守リ、忠孝ヲ教フベキ事肝要ト心得可申候』といふのが、よく守られて居るこゝふ理由もあらう。

寺子屋から明治の新教育へ

寺子屋は文化文政の時代が最も盛んでそれから後もかなり盛んに続けられて居て、初等教育の唯一の機關として明治になつてからも心ある家庭の親々は必ずこれに通はせたのである。それが明治になつてからは初等教育機關として小學校が

建てられ早い所では明治元年から小學校があるので今迄寺子屋に行つて居たものも追々小學校にはいるこいふ狀況で従つて寺子屋の數が減少して來たのは止むを得ないことである。慶應以前は新らしく開業する所が多く廢業が少なかつたのであるが明治となるを年を追ふて廢業が多くなり殊に明治五年學制頒布の年には廢業數が全國的に非常に多數になつて居る。

廢業數

| | 全國 | 東京 |
|-------|------|----|
| 慶應二 | 七七四 | 二 |
| 明治元 | 五二九 | 一 |
| 二 | 四七五 | 七 |
| 三 | 五六七 | 八 |
| 四 | 一三四七 | 一一 |
| 五 | 四五二九 | 三七 |
| 六 | 一六七〇 | 二七 |
| 七 | 四九六 | 二六 |
| 八一〇 | 二八〇 | 四二 |
| 十一一四 | 一一六 | 四六 |
| 十五一二〇 | 五〇 | 三四 |

明治五年が全國に於ても、東京のみならず、最多數を占めて居ることは學制創定の影響で、かくて漸次明治の新教育へミ推移して居るのである。慶應から明治にかけて初等教育機關としての寺子屋の位置はかなり重大なものであつて、一方舊教育から新教育への最もよいなだらかな段階を形づくつたものと云ふべきである。

さて今迄述べたころの寺子屋は、寺子屋全部を記述したのではない事を重ねてお断りして置きたい。寺子屋教育の中にあらはれたる幼兒期の部を特にミり出したかたちなのである。が然し、多くの寺入りが六歳のものが最も多い事は種々の文獻によつて見るも、亦現存する人々の往時の追憶にもたしかな所である。

日本教育史資料

「就學年限。凡男女共、六歳、ヨリ少クモ三四年間、又ハ六七十年、十年以上二十年ニモ及銘々志ス所ヲ習字仕候 云々」
近松巢林子の「抱狩劍本地」

「三つで髪置き、五つで袴着、六つで寺入、上げる手本の數々は、七ついろはの年弱七つ撫でつ摩りつなでとし瞿春の、花の笑顔の愛らしさ」等、

して見れば、幼兒期の教育が、すつと以前から行はれて居たもので、我が國に幼稚園が出来たから急に是れに人々が留意したミのみは斷言出来ないやうにも思はれるのである。且つ寺子屋に存在する遊戲なごもかなり盛に行はれて居たことから考へても是等幼兒期の幼兒を對象としたこと起因するのである。又教へ方等も一齊ではなく、個人的に一人づつが教へを受けて居た等のことも幼兒期の子供には適當した方法であつたことも考へられるではないか。

モンテツソリー幼稚園

—在イタリー國ミラノ—

女子學習院幼稚園 宇佐美 けい

モン氏が其教育法を以て開始され、今尙現存するイタリーに於ける唯一の幼稚園であります。

私が同園を訪れた時は恰も暑中休日にて、其保育の實際を參觀する事が出来ませんでした。しかし豫め、在ミラノ日本領事に依頼し許可をえて居りましたので、當日は休みにも係らず若い二人の先生がわざわざ出て來られて案内をし、また種々質問に應じてくれました。園舎はむしろ粗末な建物ではありますが、清潔にしてよく整頓せるはさすがにモン氏直接指導による幼稚園として首肯されました。

數室ありまして、その一番大きい部屋の一方の壁に添ふて參觀者の多數の場合に備へる階段座席の設備があります。

机、戸棚の類は眞白のペンキ塗の細い赤の縁ざりの極めて美しいものであります。モン氏の教具によつて感覺練習をなさしむる事は勿論、實生活を保育にさり入れてゐる其徹底ぶりは、寫眞によつて御紹介したいと存じますが編纂係の方に申込んでありませんので都合で次回に掲げさせていたゞく事に致しませう。さすがに掃除道具がよく揃つて居ります、小さい箒、塵取、バケツの類が幾組が整然と戸棚にはいつて居ります、その實用向きの可愛いのは等の道具を見ただけで、幼い人達が黙々として一生懸命にお掃除をする姿が、はつきり見えるやうな心持がいたします、食器類、即ち、皿、カップ、その他幼兒の脊丈に相當した高さの戸棚に納められて居ります。幼兒が登園して

すぐ手を洗ふ所、靴を掃除する所など、幾個所かにあります。

此處に預る幼児は皆貧しい家庭の子供で、一年間僅の月謝で毎日お晝の食事を與へます。スूपミバン位でありますが、其配膳、給仕―後片づけ一切幼児がするといふ事で朝九時から午後四時まで預る事は普通の托兒所と同じであります。

右の幼稚園も現在は獨立したものでなく、一種の徒弟學校といふ風な同じ敷地内の大きい學校に附屬して居ります、而して學校の方は別にモン氏の教育主義にはよつてゐないといふ事であります。

チエリオ在兒童養育所(ローマ郊外)

此處は兒童養育所といふよりもナースのトレーニングスクールであります、伊太利ローマに於ける此種の見學は、國立母性兒童保護協會といふ妊産婦の世話から、兒童出生後滿十八歳までの保護監督をする施設機關の本部から指定をうけ、下位春吉氏の御案内で參觀したのであります。

此處は理想的にされてゐる養成所の一つでありまして上流向きのナースを養成するといつて居りました。現在乳兒、幼兒、全部で百六人で里子にする代りに此處にあづけるので全部國費で支へられて居ります、廢兵の子供、或は私生兒にして母親に養育の力のないのなご警察の方から廻つて來るのもあるといふ事であります。此處に收容しやうミ骨を折つて居りますものは、世界大戰の際、重壕で戦つた爲めに多數の肺結核患者が出來た、その人たちの子供であつて、つまり結核性の親からその子供を引離さうといふのであります。

乳兒室、幼兒室、共に周圍全部硝子戸の明るい、清潔な部屋であります、幼兒は雨天の際は室内で遊ばせるが、雨の降らぬ限りは戸外で遊ばせるといふ事であります。私の訪ねましたのは可なり暑い夏の日盛りでしたが、やはり庭の木蔭に腰かけたり、極めて靜かにして居りました、赤ちやんは大きい橢圓形の籠に入れてベランダ、或は木の下などに寝せてあります。

此處に學ぶ生徒は五十人で二年の修業年限であります。

一人の生徒が三人、乃至五人の乳兒嬰兒を受持つて居ります。前述の理由で生後直ちに引取る乳兒が多數あります。その哺乳は勿論人乳で、其爲めに乳母が雇つてあります。人乳の哺乳は六ヶ月間で、そのあとは牛乳、或は人工食を與へます。

生徒は全部戰死軍人の娘であつて全然實費であります。寄宿舎も見ましたが、廣い部屋をカーテンでベットミ戸棚を圍つて獨立した幾つもの部屋をなして居ります。乳母の取扱ひなども中々行き届いて居つて、その寢室も自分の荷物を置いたり用事を呈したりする部屋を別になつて居りまして、其寢室は非常に清潔でまた、乳母の食事その他の状態はよき乳を多量に得んが爲めに細心の注意が拂はれて居ります。現在伊太利には婦人の職業を與へる學校が澤山ありますが此學校の卒業生の賣行きが一番よく、また収入も一番多いといふ事であります。生徒は實に眞面目な態度で熱心に赤ん坊の世話、幼兒の保育をして居ります。最初の一年間は學課、その他料理、看護法、衛生に關する智識を習得し第二年は實地をする、而して徹底的に、乳

兒、幼兒を育てる一切を實習する事になつて居ります。此種の學校が日本にも非常に必要だと思つたのであります。

ヴィスコーザ會社内托兒所

ローマ市外にある人造絹絲會社にて、其工場内にある女工の兒童を預る所であつて、私營の模範的施設として紹介されたものであります。工場にて二千二百人の女工が働いて居り其中子持の女工は朝此處に其子を預け、乳兒には哺乳の時間に母乳を與へる爲めに母親は此處に來る事が出来るやうになつて居ります。

何しろ大きい工場で、托兒所は其場内の高臺の一番よい場所にあります。現在百三十餘人の預り子の中に乳兒八十人あるといふ事がありますが、行き届いた施設がなされて居ります。バルコニーが廣くて其柱に蔓草がはつてゐて紫の美しい花をつけて居ります。其處に赤ちやんが大勢籠に入れられてねんねして居ります。實に平和な美しい光景でありました。

幼稚園の觀察

東京市視學 岡 崎 常 太 郎

一般に觀察といへば、主としてものをよく観る事の様
考へられて居るが、幼稚園の觀察は之に或る程度の考察を
加へなければならぬと思ひます。かくいへば必ず岡崎は幼
稚園に理科を取り入れようとするのだと云つて攻撃する
人があらうと思ひますが、私は當然かく考へなければなら
ぬと思ひます。小學校の四年には理科をおき得るが三年以
下の學年には理科はむづかしいから、觀察科或は自然科を
置きたいといふ人がありますけれども、それは捕はれた考
ではないでせうか。勿論程度は違はなければなりません
が、理科は六年にあつてよし、三年にもあつてよし、又幼
稚園にあつてもよいと思ひます。それを理科は四年以上
に限ると思ふから、一年生でやつてよい事までも必ず四年生
にならなければやれぬものと思ふ、誠に融通のきかない事

であります。現在の幼稚園の傾向からいふと多少無理の點
もあると思ふけれども、國民性改造といふ點から考へて私
は其點まで行きたいと思ふのであります。適當な例ではな
いかも知れませんが、幼稚園の觀察は植物の芽にたこへる
こぎが出来ませう。一寸見ては簡單なものです但其の中に
は將來、葉になり莖になり花になるものが潜んで居ります。
又柿にたこへますと、種子の胚に相當するこぎ見てもよいで
せう。幼兒の觀察力の内面には將來無限に發展すべき或物
を持つて居るのであります。それ故幼稚園の觀察は只簡單
な、うすつぺらな觀察を考へずに、幼兒相應の考察推理の
力を伸展せしめる様適當に指導したいものと思ひます。そ
のためには適當の材料を選びそれによつて理科的芽生を
培ふこぎを努力しなければなりません。

誠に失禮ですが、從來女子は理科的方面に勝れて居ることは申されません——近時女子の理學博士が出る様になつた事は大に意を強くいたしますが、——その女子が保姆になるのですから、子供等に觀察のハタラクがきの位あるのかを試めすだけの力がありません。それですから保育項目中に、觀察が加へられてありまして、之に興味をもたないで、兎角唱歌や遊戲に傾いてしまふのではないでせうか。小學校の先生を見ましても、女子で理科を好む人は非常に少くて、國語や唱歌の方面に興味を持つ人が多いのであります。かゝる人達が幼兒を取扱ふ場合に、果して觀察の指導が出来得ませうか。わが國の前途を思へば聊か悲觀せざるを得ません。しかしこの點では男子の方が遙に勝れて居る様でありますから、私は男の保姆さんにも必要だと思ひます。

要するに幼兒を指導する前に保姆自分が先づ自分の觀察力を養ふ必要が大にあると思ひます。

觀察材料について

秋季の材料について申上げますと、都市の幼稚園は公

園、學校園、街路樹等について種々の觀察資料を求めるがよろしい。一例をあければ、「なつづた」の如きは觀察材料として一年を通じて適當して居る云つてよいでせう、一株の中に葉の大きさ形に色々の變化があり、紅葉する時にも色々の變化があります。青桐もよろしい。殊にその實はすい分おもしろく、春の芽だちの若々しさ、夏の青葉のモザイクの茂り方、秋の紅葉、さては落葉の有様など四季折々の眺めが變り、その上成長も早いから、種々の觀察ができます。又並木のプラタナスは丁度今頃から紅葉落葉の状態を知らせるによろしい材料であります。

市内の幼稚園では成るべく鉢植をするのがよいでせう。チューリップ等の宿根もの、又いんげん豆やあさがほ、ほうせんくわも適當でせう。鉢植の植物を室内に置くことは情操陶冶にも資する所が少くないと思ひます。

動物では、「かたつむり」を飼育して生活狀態を觀察させ、又荷物を引かせてその力をためすなど、工夫すれば相當に子供の興味をひき起す材料が幾らでもあります。砂糖を用ひて「あり」の生體を觀察させるのも面白いものです。

數種の鳴く蟲を種類別にして、各別の籠に分けて飼育しながら鳴き聲を鳴き方を知らせるこもおもしろいと思ひます。

バット（水槽飼育）、煉瓦形の長方形の鉢に水草を植ゑつけて水を充たしたバットに入れ、その中へ小動物を放してやるこ、水草もよく繁茂し、動物も長く生きて居ります。バットは暫く經つて周りの硝子にコケが生えて見にくくなり、ますから時々掃除する必要があります。一つのを始終同じ様におくこ目にタコが出来て、注意を引かなくなりますから、時折、場所をかへたり材料をこりかへたりして、注意を引く様に目新しくしなければなりません。

岩石礦物は略

更に最も望ましい事は、保姆自ら時折外觀察をされたい事であります。子供に多くの草花や蟲を數へるまでには行かなくても、尋ねられたら名前くらゐは教へられるようにありたいものです。物の名前を知るこは觀察の始めです。保姆の方々は奮發して花や蟲の名前を知つて下さい。そして成るべく採集して分類して見て下さい。分類の方法

を會得すれば戸棚の整理にも役立ちます。婦人には殊に必要な事項であります。

物理化學方面略

氣象觀測、人形を作つて立たせ、その影の方向や長さが春夏秋冬によつて變るのを計るのも氣象觀察の一つの方法だと思ひます。

人事界にも觀察材料が種々ありますが略します。

玩具の中には、おもしろい考察の材料が澤山あると思ひますが、他人の造つたものばかり用ひないで、皆さんが自分で理想的のを工夫したらよいと思ひます。何處の幼稚園を見てもよい玩具は殆んど外國物の翻譯です。積木にしても何處に行つて見てもすべてヒル氏の積木といふ有様です。もつこも幼稚園そのものが輸入物ですけれども、それにしても餘りに創作氣分がなさすぎる様な感じがいたします。

*

實際的の話が少くて御參考にならなかつたこ存じます。それにも拘らず長時間御熱心におきき取り下さいました事を深く感謝いたします。（先號「都市幼稚園に於ける觀察について」のつゞき）

聞かせる唱歌に就いて

目白幼稚園 和田 實

保育事業としての談話に、聞くことを主とする部分と、話すことを主とする部分とある様に、保育事項としての唱歌にも、唱はせることを主とする唱歌と、聞かせることを主とする音楽とがあつて然る可きだらうと思ふ。唱歌と云ふ以上、唱ふことが主であるから、聞かせることを主とする音楽は別問題である、考へれば考へられぬこともないけれど、夫れでは聞かせることの音楽的教育は必要がないと云ふことになりはしまいか。是は大なる問題であらう。

元來、音楽教育に聞かせることを主とする教育を缺いて居つたことは、從來の大缺點と云はなければならぬ。高等女學校の卒業者と雖も、家が富裕で、音楽會などへ高價な入場料を拂つて出入するものか、或は蓄音器を持つて居て古今の名曲を日常に楽しみ得るものゝ外は、ベーターベン

の「月光曲」が何んなものやら、ショパンの「夜想曲」が何んなものやら、一向知らぬと云ふ有様であり、又夫れで一向差支ないこの様に、我も人も思ふて居つたのが、過去の狀態であつた。併し、藝術は科學と共に文明の財産であつて、科學的知識が文明人の持たねばならぬ資格の一つとすれば、同様に藝術の若干は、各人の修養に應じて持たねばならぬ一つの常識であらうと思ふ。日本の近松を知り、紅葉を語る様に、ゲーテの「ファスト」を語り、ユーゴーの「レ・ミゼラブル」を話すのが常識ある文明人とすれば音楽に於ても、古今の名曲に就いて多少の聞き覚えがなくては話しにならぬ譯ではあるまいか。然るに、文學史を一方に教ゆる高等教育にも音楽に就いては唯、唱ふ可きものを教ゆるで、夫れ以上には出ない云ふのが、從來の音楽教

育であつた。是が果して、正當な音樂教育であらうか。嘗つて、音樂學校の教授田村虎藏氏が高等師範の附屬に教鞭を操つて居られた頃、時々、單に生徒に聞かせる爲めに、種々の小曲を彈じて居られたことがあつた。夫れを又生徒が大變悦んで居るに云ふことを聞いて居るが、然もある可きことだと思つた。

元來、子供の耳に云ふものは生れて三四週間にして感覺は充分に役立つ様である。従つて、其頃より音樂的音調に傾聽する様になる。或心理學者などは生れて四五週間にして音樂的音調に耳を貸さない様なものは、音樂的修養に適さぬ子供ださへ云つて居る位である。斯の如く、耳に云ふものは口舌よりは遙かに早く發達して居るものであるから、子供は口に唱ふことは出来なくとも耳には理解するところが出来る筈である。吾々も、手にピアノを彈ずる技術なく、口に「バス」も「テナ」も何等技術がないけれども、名手の演奏を聞いて、愉快を感じる耳は持つて居る。是が悪いことであらうか。唱ふこと、彈くことが出来なければ音樂的修養は云へないのであらうか。なぜ、高等女學

校では唱ふこと丈教へて、聞くことを教へないのだらうか。吾人は久しく疑問として居るものである。幼兒は唱ふことの出来ぬ中から、母親の「子守り歌」を聞いて悦んで居たのである。耳は口より遙かに先きに進んで居る。唱ふことの出来る前に、聞くことは充分に出来るのである。此意味で、音樂教育は唱ふことを教ゆる前に充分に聞かせて遣らねばならぬ。聞かせることに因つて、子供の耳は發達する。音樂的興味は發達する。其結果は、唱歌を好み、發聲機能の發達もなる。斯様にして、一方に聞かせることに因つて教育し、引き續いて唱ふ教育を施すに云ふのが、音樂教育の常道ではないかと思ふ。聞くところに因るに、山田耕作先生は子供に聞かせることを主とした小曲を編輯されて居られたに云ふことである。甚だ意義あることだと思ふ。

斯様に考へて來るに、幼稚園でも、單に、唱ふことを教ゆるばかりが保育でもあるまいと思ふ。子供は唱つて樂しむ前に、聞いて樂しんでよい譯であり、又夫れが耳の發達が口より進んで居るに云ふ理由で、正當な耳の持つ可き權

利でもあると思はれるのである。そこで、幼稚園では、如何に聞かせる音楽に因つて、子供を樂ますことが出来るかを研究する價值があると思ふ。

子供に聞かせる施設をする前に、幼稚園の先生は子供に聞かせる爲めに、先づ、自から能く唱ふ先生になる必要がある。先生の喉は立派な樂器である。先生の肉聲は蓄音器や「ラヂオ」よりも子供には快味が多いのである。先生の唱ふものは子供には非常な興味を持つて迎へられる。屢々聞くことを悦ぶ。斯くして、耳に慣れると、次には口に模倣する様になる。是れが子供の唱歌に向つて發達して来る順序である。故に、先生は能く唱はねばならぬ。正しく發聲して模範を示さなければならぬ。従つて、先生の聲樂練習は相當、正確な練習を積んで居らねばならぬ。然るに、惜しいことに、幼稚園の先生の音樂修養は稍々もする音樂器の練習が主になつて、聲樂の方は兎角、御留守になり勝の様であるが、是は警めねばならぬことだらうと思ふ。幼稚園の先生は少くもコールブングンの一冊位は正確に練習して置かねばなるまいと思ふ。斯様にして、時々先生が

子供にお互に獨唱を仕合つて、子供の悦びさうなよい歌を聞かせるならば、子供は自然其興味を向上し、益々教育の目的に向つて進歩發達することが出来るだらうと思ふ。施設的一端としては、今の處、先づ蓄音器の利用であらう。幼兒に恰好なレコードを選択することに因つて、機會ある毎に之を利用す可きだらうと思ふ。

新幼稚園唱歌講習會

教育音樂協會編纂の新幼稚園唱歌について、本會で講習をいたします。本號廣告面につき詳細を御覽の上多數御出席下さい。

入學前の幼兒について

及 川 ふ み

昭和七年を迎へて又新鮮な氣持で幼兒たちと遊ばれる事は何といふうれしい事でせう。

歳末の終業式の日には倉橋先生が幼兒たちに「お正月は皆さんに來るばかりでなく東京からずつ北の青森や北海道の饑饉のころの子供にも來ますよ。それから又遠く満州の野でお國のために働いてゐて下さる兵隊さんたちにも來ますよ。」とお話下さいました。

この時に小さい幼兒たちにも東北、北海道のお氣の毒な凶作の事も亦満洲の地で皇國の將士が活動してゐて下さる事も深く感ぜられてゐたものと見えて異口同音に「知つてゐます、知つてゐます」を連發しました。この様子を見ても大きい組の幼兒はこゝさらにその感を強うしてゐる様に見受けられました。日頃の自由遊びにも満洲事變勃發後は男兒には戦争ごつこが多くなり長い積木を肩にして園庭を駆けまわり大將の命令一下お庭にはひねて鐵砲をうつ。こんなことが幾日も幾日もくりかへされるある日な

ご例の戦争ごつこに子供心にもその日は少しは興奮してゐたものと見えて敵方になつてゐた一人に始めは積木の砲さをむけてほんほんこやつてゐたのに尙あきたりなかつたのか急に一人が大急ぎにはしりよつて積木でなぐりつけた。又一人又一人、一寸の間に包圍攻撃をうけて敵兵は一たまりもなく大泣きに泣き出した。大急ぎでぶたれた所を冷して別にこぶも出來ずにすんだのであります。

敵になるのは始めから誰しも好まないものであります。戦争ごつこしてはり合ひがないので仕方なしになつてやつたのにこの始末で、このひきい目にあつた幼兒は勿論その他の幼兒も戦争ごつこの敵兵になるのはいやだ泣き出して誰もなり手がなないし私の方でも誠に危険の至りでこの頃は敵は遠くにありたいふところで鐵砲を遠くへうつて接戦だけは嚴禁しました。平素の兵隊ごつこには見られない一場景でありました。

又或日なご新聞紙が廣告の紙かでメガホンをつくり「あ

はれな同胞のためにおたすけ下さい」幼稚園の廊下をねり歩いてゐる事もありました。こんな風でしたので終業式の日なご主事先生からお話が出たときにはほんごに我が意を得たり顔に、知つてゐます知つてゐます、で大賑になつたのでありませう。

滿洲事變や、東北北海道の大凶作の事柄は國をあけての大きな出来事で新聞や、ラヂオ、街頭のメガホンの聲によつて小さい人の腦裡の中にも深くしみこんでゐる事ご思はれます。

年長組の幼児たちは後二三ヶ月のうちにはそれご小學校へ送らなければなりません。東京の様に數多い小學校の中でも父兄の方々が入學させたいご考へる小學校にはそれごむづかしい入學試験の難關があります。これは單に東京のみならず少し大きい都會は皆大同小異の事ご思はれます。一人の幼児が數校の門をぐづつてやつごおちつく學校が定るものも少くはないのであります。

幼稚園は小學校の準備のためのものであるごは私共は誰も考へては居りません。けれども小學校へ上る前の準備ごして幼稚園によごす父兄は誠に多い様に思はれます。

東京市外の多くの幼稚園これは地方の幼稚園も同じ事でありませうが、幼稚園で二年間保育を受けるために五歳六歳の幼児を入園させる數よりも一年間の保育を受ける六歳七歳の幼児の數が前者の數倍にのほるのであります。つまり大抵の幼稚園には一組の年少組に對して二組三組の年長組があるわけでありませう。この傾向は私共ごしてはなるべくさけて年少年長ごもに同數位であつてほしいご願ふごころであります。まだ一般の要求するごころがそれに達しない事は甚だ遺憾なごころであります。

然し幼稚園の在園二ケ年間で毎日ご一緒に遊んでゐる幼児がごくにその身心の兩方面に著しくのびるのは年長組の二學期において一段ご顯著にあらはれる様に感ぜられるのであります。勿論年少組の一年間のかくれたる力の上にのびてゆくのであります。

身體的方面からみても幼児の毎日の出席の様子が在籍三〇人に對して二十五人を越えて出席するのはごく稀で大抵の日は二〇人前後が普通で、少いごきには一〇人あまりいごふなさない状態なる事もしばごであります。これにひきかへて年長組の幼児は在籍三〇人に對して多

き日は全出席といふすばらしい有様となり普通の日で二七、八人位で極めてお休みの多い日でも二〇人を下る事はほさんきない様であります。これは幼稚園の生活にもなれたのでもありませうが健康状態が大層良好であるといふ證據も考へられるのであります。

精神的方面から考へて見てもごく大ざっぱにいつて見ても何さなく何をさせても手こたへがあるといふ感が著しいのであります。一つの繪本を一緒に見てゐてもその繪を見ながらいろいろの事を追求する。又幼児自身の見聞なごもその中に入れて私共にもきかせてくれる時もある。又繪をかくにも今まではいつも同じものをいく度もくりかへしくしてかいてゐた人もお友達の上手な繪を見て觀賞しながらその頃には自分で眞似て自分も畫いて見たり、又動物なご畫いてゐる時なごもわからない箇所は本立の中から何か参考になるキンダーブックやその他の繪本を引き出して畫くといふ様になり大いに馬の題材を考へたり内容を充實させやうとつこめる。お話なごでも一つのお話で満足せず一時に二つも三つものお話をつゞけ様なきゝたがるし、又お話種類なごについても夢のやうなたは

いのないお話ではあきたらないで歴史的のやうなものを喜ぶといふ様になる。尙これだけでなくすべての事柄について觀察の力なごも強く盛に動くので精神的活動が著しく進むのであります。その好機を見のがす事なく小學校の入學準備といふ事と別問題でこの慾求を満足させる様に保育室の中に出來るだけ幼児の種々の觀察すべき材料をまりかへて備つつけたいものであります。時には簡單に説明してやるのもよい事でありませう。新聞やグラフの寫眞のきりぬきをはりつけたり、又出來れば動物園なごにつれ出して水鳥の泳いでる様子やお猿のいろいろの種類を見るのも面白くて喜ぶことでありませう。

この外幼児が數についてごの位の觀念があるか、片假名はごの位知つてゐるかについても一人／＼の幼児についてその受持の保姆にしても一通りは知つておきたいものであります。こうして數の觀念や文字やその他の觀察方面についてしらべて見てあまりに他の幼児に較べて發達のにぶいご考へられる幼児にはその他のものよりも一段ご法意して幾分でもその缺點を補つて小學校へ送りさゞけたいものであります。

高女五年生の教育學答案から

大 塚 喜 一

問一、子供への「おはなし」について述べよ。

A 子

夜御清團に入るに必ず「母さん、おはなしして」言つてねだる私でした。そうするに母さんはきまつて「母さんはちつともおはなしなんて知らないの」言ふのでした。でも母さんにおはなしをしていたやうな事をちやんき覺えてゐるのです。「嘘よあのおはなしして頂戴よ。知つてゐるぢやないの」言つてはせがむに「同じおはなしでいいの？」言ひながら何時でも山姥のおはなしが桃太郎のおはなしをして下さいました。

同じおはなしを何回きいたか、然しやつぱりあきない私でした。

それから御父様に「おはなしして頂戴」言ふに、大抵は

電車か汽車のおはなしで、「チン／＼！はい動きます」に始められるのでした。

おはなしの世界。それは私にまつて一番楽しい世界でありました。母さんにおはなしして頂く時は母さん私で造られた世界にすっかり住んでゐました。それはやはらかい、暖い、安らかな世界でした。そしてその時一番母様にすっかり抱かれてゐるに云ふ氣持で一ぱいでした。信頼の氣持で満ちてゐました。母さんの頭にも私に對しておはなしをしてゐるに云ふだけではなく、母さんもやつぱり私と同じ世界に住んでゐられて、私に言ふものをすっかり抱いていられたのでせう。そして幾度きいてもあきなかつたに言ふのは同じおはなしの材料を通じてその度毎に新しい心の交りが生ずるからで、しかもその交渉そのものは親に

子ミの愛情を増してゆく楽しいものであつたからに違ひありません。お父さんに電車のおはなしをして頂く時は二人で電車に乗つてゐるつもりになつてゐました。おはなしがすむとお父様のお膝にのつかつて體をゆすぶつては「チン／＼動きまゐす」ミやりだすのでした。（これは想像的模倣に入る事でせう）その時お父様はニコ／＼笑ひながらお膝をゆすつて電車になつて下さいました。おはなしがすんでもやつぱりそこに「おはなしの世界」があつたのです。

* * *

子供にミつておはなしの面白いのはおはなしのすぢではないのです。おはなしする人ミ子供ミの心の交渉によつて生じた世界が面白くて楽しいのです。おはなしする人が愛を以ておはなしするならすつかりそれは子供にさけ込み流れ込むのです。勿論そんな氣持で話す人なら、おはなしの材料だつて悪いものを選びはしないでせう。色々すぢのこんだおはなしより簡單なおはなしの方がすつミよいのです。きれいな「こゝろもち」をはぐくんでゆくよい「おはなし」を正しい言葉でまじめにするミ云ふ事は非常に大切

な事だと思ひます。

以上

評 良き親ありて良き子あり。

更に 來るべき日に 榮光あれ！

問二、想像的模倣によつて開かれてゆく「子供の世界」の情景を表現せよ。

B 子

去る快く晴れた日曜日午後、裏の方に散歩に行くミ六七人の男の子供たちが一生懸命に「兵隊ごっこ」をしてゐるのだつた。彼等はみんな通學用のランドセルを背負つて竹の棒を腰にさしてゐる。背囊ミ劍ミである。一人は望遠鏡を持つてゐる。きつミ斥候だらう。一人は赤ミ白の信號旗正しく信號兵だ。實に眞劍だ。彼等は自分が兵隊でない事は明かに分つてゐるながらすつかり兵隊になり切つた氣持で遊んでゐるのだ。彼等は暫らく現實の世界を離れて彼等の作つた世界に於てみんな兵隊になつて眞劍に戦争をやつてゐるのである。

實に新鮮な澄渾さが漲ぎつてゐる。

今月四年四ヶ月になる姪がある。たまに遊びに行くミ

て来る態度、すっかり一家の主婦になりきつた態度である。「これは、御馳走様」に頂く振りをする。「おいしふ御座いますか」に聞く。聲まで主婦の様である。その真剣な可愛い顔を見てゐるに本當に食べてやりたい様な氣になる。「さうも御馳走様」に返すに「あんた本當に食べたの？」の心配相に聞く。

彼女は明かに、これは食べられないものだといふ事は知つてゐるのである。決して食べてはいけない物を食べる様な愚な錯誤はしてゐない。それでゐて、本當に御飯を食べる時以上に眞剣な切實な心持を以て「想像の天國」に遊んでゐるところに「子供の世界」の特質が鮮かに表現せられてゐる。

自分が小さかつた時、友達と一しよに一番よくして遊んだ

のは「お嫁さんぶつこ」だった。日あたりのよい椽側に箱を並べて家を作り、繪葉書の障子、一人で親になつたり子供になつたりして……實際、私たちだけの世界だったんだもの！

自由自在の空想の生活をほしいまゝにした昔が懐かしい美しい「子供の世界」がよく表現されてゐます。

目下高等女學校五年生の教育學にて、生徒と共に學びつつある教科書

福島政雄先生著 日本女子教育學(大阪精華房發行)は、その卷頭に於て次の如くに説き起してゐられる。

爪はめば子ぎもおもほゆ、栗はめばましてしぬばゆ
 いくより來りしものぞ、まなかひにもまなかゝりて
 やすいしなさぬ。

しろがねも　くがねも玉も　何せむに

まされる寶子にしかめやも

この歌は萬葉集に出て居る有名な山上憶良の歌で、自然の人情としての親心を歌つたものである。この憶良が、旅

に病める人に代つて

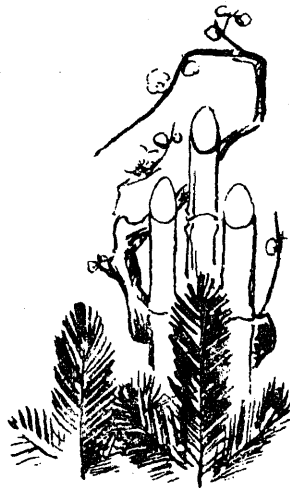
出でて行きし日を數へつゝけふけふこ

吾^あを待たすらむ父母等はも

ミ歌つたのは、自然の人情ミしての子心を詠じたものである。かやうな親心ミ子心ミが深められて行つて、一つに融けあふころに教育ミいふこミが成り立つのである。苟くも教育ミいふ限りは、そのすがたかたちは如何にかはつても、必ず此の親心ミ子心ミの融和を以てその根本ミするものである。

家庭教育の真髓も保育の真精神も、實に茲に歸すこいふべきであつて、斯かる心情より教育を語つてこそ初めて人心に殊に處女の胸に感激を覚えしめ、教育に對する愛好心を目醒すこミが出来ると思ふのである。自分は今、前に掲げた「おはなし」についての答案を見て、其筆者が彼女の家庭生活の中心をなす「親心ミ子心ミの融和」を通じて「おはなし」の真趣を自然に味得してゐるのを見、之を私するに忍びず、兼ての問題たる「おはなしの基本的態度」を體得すべき淵源も亦實に茲に存する旨を實感して頂き度いと思

つて、之を掲載するこミにしたのである。



世界人形行脚記

——(世界教育大會より歸りて)——

前序

昨夏私は文部省の指令によりまして、米國デンヴァー市に開かれました第四回世界教育聯盟大會に、幼児教育部日本代表として出席參加するの光榮を擔ひました。其の歸途歐米諸國を歴遊致しまして、平素から興味を持つて研究して居りました玩具、殊に人形の有様を視察し、各種の珍しい見本を蒐集して歸りました。就きましては人形を中心として、今度の旅行中に感じました事、並びに平素の研究の一端を、本號以下數回に亙つて半ば漫談的に記述して見やう思ひます。

昔の人形又は郷土人形の研究蒐集家は我國にも著名な方々が數名御座います。然しそれは歴史的又は美術的方面

フレーベル館社長 高 市 次 郎

で、大人の學問的、骨董的趣味を満足させるに足るものですが、現實の子供の玩具といふ觀念からは多少縁遠いものかと思ひます。私は専ら現實の教育的價值及び製作的見地から人形の研究蒐集に志して參りました。此のお話もごより其の立場から申述べて見度いそ存じます。

人形は古今東西を通じ、玩具の中で最も廣く用ゐられたもので、我國でも非常に古い時代から存在してゐました。

雛人形、武者人形などは主に儀式用のもので、子供が實際遊ぶ人形としては郷土人形がありました。内地に郷土人形がある許りでなく、世界的に見れば各國に必らず特殊な人形があります。例へば支那やエジプト等にもなか／＼面白い人形が見當るのです。また人形が人形芝居に仕組まれ

て、大人の、また子供の劇的情懷を陶冶し、教訓的效果を擧げて参りました事は人の知る所であります。

さて人形を子供の現實の玩具として考察しますと、子供は人形を中心として家族的、社會的生活の模倣遊びを致します。女兒の情懷教育に、此の人形遊びが甚だ有效な事は申す迄ありません。人形を家族的模倣遊戲に實用する風習に於ては、北米合衆國が最たるものか存じます。彼地の子供は、人形を恰も生きた本當の友達の如くに取扱ひます。例へば子供が外出する時には、こちらの家庭で往々見受ける様に人形をメチャ苦茶に放逸する事はせず、「留守してゐて頂戴」言つて人形をちゃんこベツトに寝かせるか、或は坐らせて人形の玩具をあてがつて出て行きます。即ち彼地の子供は人形をバーソニファイして遊ぶのでありまして、以て人形が玩具の中で如何に重要な地位を占めるかが察せられませう。實際、玩具の世界最大の消費地たる米國に於ても、人形が消費高の大部分を占めて居るのであります。子供の玩具でなく、人形の玩具こいふべきものが澤山製出せられてゐます。

又近來は各國に子供の人形芝居が發達し、此の方面から男女兒を通じて素晴らしい劇的效果の下に情懷教育が全うせられる様になりました。

* * * *

さて本題に入りまして、私が横濱を出帆致したのは昨年七月十日、一行は大島團長以下七人、乗船は郵船の平安丸でした。極めて平穩な航海を終へて廿一日ヴァンクーバー着港、翌廿二日更にシャートルに廻航して上陸、直ぐ様ポートランドを見物しました。高臺の住宅地に快く數きなされた新緑のローン(芝生)の上に、門も垣根もなく、解放的に美しい住宅が立ち竝んでゐる有様は如何にもフランクな感じがして愉快でした。早速にこゝを立つて翌日ソート・レークに着きました。酷暑燒くが如き荒原の眞下に在る鹹湖で、湖水を見た時には實際オアシスの喜びを味識致しました。此の邊には珍らしく滾々清水が湧出していますので、一行は盛に水を飲みました。此の處は嘗て一八四六年清教徒モルモン教徒が自由の天地を求めて東海岸より西海岸に向ひ、十九ヶ月にして翌一八四七年當ッ

ート・レークに達し、湖を海に誤信して茲に足を留め、開拓に従事しました。爾來漸次に發展して現在人口十五萬餘の都市になりました。モルモン本山は流石宏大なもので、教堂の中には世界一のパイプ・オルガンがあつて、私共も其の豪壯な音聲に驚嘆しました。此の日は偶然開市記念日に當り、早朝から各種の催物があり、大層賑やかでした。様々の出物の中には、日本人團體の出物もあつて懐しく感じました。但し今日は特別の炎暑で、百十五度位に登り、卒倒したものが卅五人もあつた相です。湖は彼の死海と共に、世界に名高い鹹湖で、人が泳いでも沈む憂なく、恰も鹽に乗つた様な風に脚を止めて浮んでゐる者を多數見掛けました。

ソート・レークに二泊、二十五日に出發して翌日大會の開催地デンヴァー市に到着しました。此の町はロッキーマウンテン脈の西麓海拔七千尺の高原に在り、人口三十五萬、登山口の涼しく美しい都會で、アメリカの避暑地として、また學校町として名を得てゐます。

教育大會は七月廿七日から八月一日まで六日間開催、

會するもの五十二ヶ國、三千四百餘人に及び實に盛會でありました。分科會議は午前九時より、全體會議は午後八時より毎日開かれ、炎暑中にも係らず非常に熱心な會議でした。小生は幼児教育部(エレメンタリー・デバートメント)會議に所屬し、日々世界列國の名高い幼児教育家の高見を聽いて裨益する所が多でありました。私も第三日に「玩具による教育」を題して、年來の抱負の一端を發表朗讀しました。此の日當分科會の出席者約三百名で皆熱心に傾聽し、各種の質問を發し、會議終了後來つて握手を求め、今後通信を約する者多數あり、歐米各國の幼児教育代表議員に對して、年來の意見を述ぶるを得た事は近來の會心事でありました。と同時に、「玩具による教育」の研究に益々重寶を感じる次第であります。

デンヴァー市滞在八日間は會議を招待するサイト・シーイングで實に忙しく、また疲れました。七月卅日に暇を偷んでロッキーマウンテン登山を致しました。こゝはナショナル・パーク(國立公園)となつてゐるものですが、山は稍丸みを帯びた平坦なもので、高山の感じ更になく、砥の如き車道を

一萬四千尺の絶嶺迄ドライブします。山嶺にアメリカ・インディアン人形を賣つてゐました。簡單なものです。がローカル・カラーの豊富なもの、人形に切手さへ貼れば其のまゝ山嶺から日本迄でも届けて呉れる仕組になつて居ります。

デンヴァー滞在中一番愉快な印象は、貝居洋子嬢の訪問を受けた時でした。それは七月三十一日の朝八時頃、團長大島先生がホテルの私の部屋へ十歳位の一人の日本乙女を案内して、「此の娘がキンダーブックのおぢさんに會ひ度い申します」を傳へました。聞いて見るに、

「東京のおばあさんから、毎月キンダーブックを送つて呉れます。それで日本のことが解ります。いつも之を一番楽しみにしてゐます。今度、お母さんが新聞を見て、おぢさんが來てゐられるといふから、會ひ度くてお禮に來ました」

と申します。洋子さんは土地に開業してゐる寫眞屋さんの娘で、所謂第二世で英語は甘いが日本語に來ては甚だ覺束ない、そこで日本語と英語のミックスで辛うじて意味が

取り得られました。こんな異域の地にキンダーブックの知己を見出して心から嬉しく感じました。翌日は洋子さんを連れて三十哩程隔つたラブランドといふ所にドライブして半日を過しました。「おぢさんが日本に歸る頃キッ寫眞を送つてあげますから」を約束しましたが、果してつい二、三日前にお父さんの撮つた立派な藝術寫眞を澤山送つて來ました。

デンヴァーの大會を了へてシカゴに向ひました。御承知の通りこゝは米國中部の都會で、建物なども堂々たるもの、殊に屠牛場は世界第一の大規模のものだ相です。たゞホールド・アップが出没し、犯罪の多い危険な町で、私の印象は決して良好なものではありませんでした。然し玩具繪本は色々種類があつて、私も多數見本を買ひ集めました。二泊の後ナイアガラ瀑布を見物、自然力の偉大なるに唯感嘆しました。そこにはナイアガラ・ストーンで彫つた珍らしい人形がありました。最も之は置物的のもので、玩具といふより寧ろ大人の趣味に合致するものです。

シカゴからボストンに赴き、獨立戦争の紀念物を見て直ぐ様ニューヨークに向ひました。ニューヨークの玩具人形、惹いては全アメリカの玩具人形に就いて感じました事柄を次號に申述べ度いと思ひます。(六・二二・二二)

冬の自然觀察

堀 七 藏

一
冬の自然は觀察すべきことが少くない。生物はそれ／＼冬眠の状態にあつて活動しないけれども、冬の自然現象は他の季節と異り、觀察すべきことが多い。

冬の植物は多く落葉して枯木の如くであるが、獨り常緑木は嚴寒にも堪へて、青々してゐる。そんな樹木が落葉してゐるか。そんな木が常緑木であるか。つばきさざんくわ、ちやにつつじは何れも常緑木である。また松に杉、檜にまき、是等は常緑木の王様ともいはれるもの。松はお正月の松飾ともなり、竹と共に目出たい印。この松と竹について觀察すべきことが中々多い。ゆづりはあをきなごも常緑木。殊にゆづりははお正月のお飾に使はれるものがある。また南天に千兩や萬兩は青い葉の間に赤い實のついでるものが可愛らしい。南天は難轉で、特に賞用せられることが多い。是等の青い葉を比べて、その青さの度、大きさ、長さ、滑さ、葉の表と裏、葉の脈等を幼兒に觀察させて、それ／＼の階段をつくることは冬の自然觀察の面白い一事項である。

また常緑木の葉でも日中と朝との生々した有様の相異に注意させることも面白いし、落葉木ではその枝振りを比較させて、それ／＼の特色に注意させるがよい。さくらさうめ、ももさすもも、もみぢにいてふ、あをきりにきり。それ／＼その枝振りが異なるものであるから、その枝振りによつて名稱をあてつこさせることも面白い。凡て説明や理解をぬきにして、事實を直觀させ、事物の觀念を明白になすことが幼兒の觀察事項である。

冬花の咲くものは少い。福壽草や水仙などがその主なるものである。梅も冬咲く温室物にはいろいろの草花がある。

福壽草は早春黄色な花が咲くので、廣く栽培せられる。

お正月の盆栽として珍重せられ、その名が福壽草までついでる。宿根の草本である。春になるに葉が伸びる。花の咲く冬には葉がないから、福壽草には葉がないと思ふ間違である。葉は十裡位に伸び、二回の羽狀葉である。その小葉は深裂して、その裂片はまた著しくぎざぎざになつてゐる。兎に角福壽草は正月に於ける植物觀察の一材料である。梅と共にお正月の盆栽には多い。

水仙も觀賞用として培養せられるもので、多年生の草本である。葉は狭く長く、線狀になつてゐるが、薺なごきとは異なる。水仙は一月高さ三十裡ばかりの花莖の頂に總苞があつて、その中に數個の花がつくものである。花瓣と萼との區別が明白でなく、普通花蓋といはれる。六枚あつて外側の三枚が萼に、内側の三枚が花瓣に相當する。この花蓋の内に濃黄色の幅冠がある。水仙の球は地下莖で、藥用に

供せられる。水仙にはいろいろ種類がある。水仙についても六ヶしいこを説明せず、幼兒をしてよく觀察させるがよい。

二

冬の動物で觀察すべきものは少い。昆蟲は凡て卵になつて冬を越すが、蛹になつて冬を越す。幼蟲で冬を越すかみきりむしの如きものも、成蟲で冬を越す蜂の如きものも、皆な樹の中や羽目板の下に隠れてゐるから、目につかない。かたつむりの如きものは枯葉と共に地上に落ちて隠れてゐるから、中々に見付からぬ。それで冬の動物として觀察し得るものは鳥類と獸類とである。多くの魚類なども池中や川では觀察出來ない。しかし冬、食膳にのほる魚類は多いから、魚屋の見學をさせるのも面白い。魚屋の店に竝んでゐる魚類について、その名稱や形狀の觀察をさせるよい。勿論これは冬に限つたことではない。

鳥類は冬、食物をあさるため人家に近く來るこが多い。雀でもうぐいすでも、またみそざいの如きものでも、またきじ、やまざり、さぎ、しぎ、はこなごでも冬は獲物

まして幼児でも観察し得る機会が多いであらう。しかし生き鳥類の観察は冬に於て行はれ易いものが少い。すゝめが雪の上に印した足跡、からす、しぎ、きじなどの足跡も見ることが出来れば面白い。またにはこり、あひる、かも、がんなぎが冬の生活状態を観察させるもよい。

冬の動物として犬、猫、兎、なぎの雪上に印した足跡は興味あるものである。またたぬき、きつね、いたち、かはうそなどの足跡が観察出来ることも面白い。

冬の動物は凡て嚴冬の間、冬眠状態にあるが普通であるから、観察すべきものは少い。只雪中の生活をなす動物の有様を観察させることが出来れば申分がない。けれども幼稚園の幼児には多く観察出来ないもののみである。

三

冬の自然物は多く幼児の注意を喚起せず、興味ある観察事項たることが出来ない。しかし冬の自然現象には幼児の興味を喚起し幼児が喜んで観察するものが多い。

冬が寒いことはあまりにも明白な事實であるが、冬は夜が長くて晝が短いことは幼児にも注意させねばならぬ。日

出がおそくて、日入が早いこと、それからお日様が南にかけたよつてゐること、幼児に注意させねばならぬ。

しかし「さうして冬は寒いか」こか、「さうして冬は晝が短く夜が長いか」こか、いふが如き理窟をこねたりしてはならぬ。かゝる事項について説明しても、幼児には決して理解出来るものではない。観察事項としては専ら自然現象に關する事實の直観を行はしむべきもので、決して説明や問答をなすべきものではない。

雪が降れば是非観察させねばならぬ。雪は雨の降るのミ異り、ひら／＼と落下する有様、吹雪があれば、その時の有様。同じ雪にも綿雪ミ粉雪ミで、その降り方、積り方が異なるものであるから、注意して観察させるがよい。また霰の降る有様、みぞれの降る様を雨や霧ミ比較して観察させる方がよい。

四

雪を中心として観察實驗せしむべき事項が多い。是等は雪の遊びミしていろ／＼に行はせるがよい。雪だるまをつくることも、雪合戦をなすことも、また雪すべりをなすこ

こも面白い。日に照らされてまけかけた雪は球となり易いが、降つたこの粉雪が中々に固まらないことに注意させねばならぬ。粉雪を黒い着物にうけて注意して觀察すれば雪の結晶が分る。雪が樹木につき、地上に積る有様はまことに面白いものがある。

雪だるまがまける有様、雪兎がまける様も觀察させるがよい。雪がまけて出来た水が雪のかさにくらべてそのかさがそんなに少いかも實驗させるがよい。或は雪を砂糖、雪を鹽を比べて實驗することも面白い。

雪についての遊びはいろいろあるから、幼児の欲するこゝを成るべく多くさせるがよい。唯雪中で着物をぬらしたり、風邪をひくが如きこゝのないやうに注意せねばならぬ。兎角雪が降るに寒いし、冷いから大人は幼児の雪遊びを制限せんことを多い。しかしそれは面白くない。

幼児はいろいろの雪遊びをなしてその間に雪に關する觀察をいろいろに行つてゐるものであることを十分認めねばならぬ。

氷がはつたときには氷の研究をさせねばならぬ。みんな

ところに氷がはつてゐるか、どんな工合に氷がはつてゐるかなぎを注意して觀察させるがよい。地面の水溜りにはつてゐる氷、お池にはつてゐる氷、手洗鉢にはつてゐる氷などはそれ／＼注意して觀察させるに面白い。その氷をこかすにみんななるかも面白い實驗となり、氷をすかして見ることも面白い觀察である。水が氷となり、氷が水になることは幼児にまつて不思議な現象である。

つららがさがつてゐるときは是非觀察させねばならぬ。また水道栓なから下さがつてゐる氷柱も面白い。或はお藥瓶に水を一杯入れて栓をなし、寒夜に外に出して置いてその水を凍らせることも幼児には面白い實驗である。手洗鉢の水が面白い形になつてゐるのも、幼児には興味が多く、その破片をストーブの上にのせてまける有様に注意させることもよい實驗の一つである。

五

霜の降る夜に然らざる夜にさうちがふか、即ちみんな晩に霜が出来るか、霜はみんなものによく出来て、みんなものに出来ないか。霜はよく晴れた寒い晩には必ず霜がおり

る。霜は雨や雪のやうに降るのではなく、零度以下に冷却せるものに觸れてゐる空氣中の水蒸氣が凝結して霜となるものである。「かさゝぎの渡せる橋に置く霜の白きを見れば夜を更にけり」といふ歌に示せる如く、霜は夕方に出来ることは稀である。朝方大氣の最も寒冷となるころ最も多く霜が出来るものである。橋に出来てゐる霜でも石さか、金具には霜が出来ず、木のさころや馬糞藁や枯草に多く霜が出来てゐる。石や金具に出来てゐるものは氷で、霜のやうには見えない。霜は小さな氷片で、廓大して見るに見事な結晶をなしてゐる。木の葉にも一面に氷の結晶が附著して霜になつてゐる。木枝に花が咲いたやうに氷がつくときは樹氷と稱し、飛彈や信州の如き寒い地方では往々見るもので、之に朝日が當るころに見事なものである。

霜柱は霜と異なるものである。地中の水が凍つて氷片となつたのが霜柱である。大氣中の水蒸氣が凝結して水滴になれば露となり、それが零度以下で凍結するに霜となるのことは霜柱の出来方が違つてゐる。霜柱は土中の水分が凍結し

て氷片となり、それが次第に成長するものである。故に霜柱は下からだん／＼伸びて長くなるもので、霜柱の頭にはよく土をのせてゐるものである。若し日中でも日蔭になつて霜柱がさけないときには、その霜柱はだん／＼成長して著しく長くなることがある。それで霜柱は水分の多い地面に出来るもので、所謂霜柱と稱する位、柱狀になつてゐる。この上を歩むに、ザク／＼音をたてるものである。霜でも霜柱でも注意して幼児に觀察させることは誠によい。殊に霜柱が多く出来てゐるころを歩むことは幼児でなくとも大人でも面白い位である。

* * *

門に門松 祝ひに小松

かゝる白雪や 皆黄金

雪は降るなよ 遊ぶに困る

外で羽根つく 毬遊び。



赤い實

大 岩 金

最も觀賞の價值ある溫室の時期になりました。開花してゐるものの主なるものはプリムラの類を始めシクラメン、冬咲スギトビ、シチリア、マーガレットゼラニウム、カーチーシン、バンジー、フリージャなどみな夫々の美を發揮して居ります。

是にひきかへ露地作りのものは一年中で最も淋しい時であります。中に寒椿、寒菊、水仙などの霜雪を侵して笑を見せてゐるのは一段の風情であります。

又小鉢作りを致しましては雪割草、福壽草など時節物にしてすて難い眺めであります。次に小栽培しました支那水仙はもそろ／＼咲き出しました。花が開けば目にもよくつきますから一層氣をつけて水盤の水はよくきりかへてやり水盤もきれいに拭つておきませう。

かく露地の花は極めて少數でありますがいづに變らないのは常緑樹の縁を見せて呉れる事であります。その中に點々色ざる赤や橙色の實これこそはこの期におきましては花におさらぬ眺めであります。即ちみかん、きんかん、橙などあります。しかし是等の栽培は一般に溫暖な氣候を好み極一般的のものでありませんからここでは省略する事に致し以下に二つ三つ灌木性のものに就て記す事に致します。

一、南天

南天は是を前庭後庭に植えて觀賞し又切花として年末年始の床飾りには他の花物を取り交ぜてしば／＼用ひられて居りますがその外その葉を四時贈物の中に入れるなごなか／＼用途の廣いものであります。是等大人の爲に

役立てられるのみならず、幼児達にこりまして、亦なかなか使ひ途の多々ある事と思ひます。わけても冬の赤い實は、また冬の雪に離す事の出来ない關係にあるもののやうに思はれます。即ち雪だるまの目兎の目の外色々こうした遊びには誠に恰好なものかと思ひます。又その葉は長短それ／＼その用ひ方によつて兎の耳にも、犬の耳にも、まだ私の考へ及びます以上に、夫々巧に利用出來ます點が澤山あることと思ひます。

さてその南天の栽培法を簡單に申しませう。

繁殖法の普通なものは挿木に依るのであります。早春枝を數寸に切りまして、是を直接光線の當らない且つ濕氣を相當によく保つやうな場所を選びまして、深目に挿し込むのであります。かく致します時は、入梅頃から次第に發育成長して參りますからよく活著しましたものは、その翌年他へ植ゑ替へてやるのであります。又播種に依ります時は、挿木の時と同じく早春赤い實の中の種子をこり出し、まして是を下種すればよいのであります。しかし挿木に依りましたものよりも餘程實のなります迄に、年月を要するので

あります。

栽植地を致しましては、あまり強光線の當らない半日蔭の地を好むのであります。即ち午前中、文位日光をうけるやうな場所で、又あまり乾かない所がよいのであります。即ち家屋の軒近くなどに栽植するには、適當なものであります。肥料も草花に施肥する程にしば／＼行ふ必要なく、寒肥として冬期中に一度、或は年數回も油粕の腐汁又は下肥なごうすめたものをやればよいのであります。しかしあまりに等閑にして、樹勢を衰へさせます時は、實の著き方が悪く、なりますから實を主とするものには、わけてこの點には注意しなければなりません。

二、千兩

是も南天とほほ同様の栽培法に依るもので、あまり強い光線をうけない場所に植ゑつけるのであります。而して冬期は戸外におきましては、稍々寒さに弱く、新梢は枯れますから霜除をして保護してやらなければなりません。又鉢植なごにありましては、室内に取り入れてやるやうに致します。

繁殖法としては播種に依る事もありますが多くは株分に依つて居ります。即ち春發芽前に是を行ふのであります。しかして日蔭におき且つ強い風に當てないやうにしてやります時は五月頃から新芽を出し次第次第にのびて開花しやがて冬になりますれば綠葉はます／＼その色をこくしその枝の先端には小形の赤、中には黄白色の實を上向に群がられます。

用途も南天にほゞ同様でありますが難を轉ずるゝかの意で贈物にそへるなごの綠喜をもつて居りませんかはりに鉢植としての價値は更にこの方がすぐれて居ります。

次に千兩に似た萬兩はその實が前者の上向であるのに對し後者は下向になつて居ります。實の大きさもやや後者の方が大きいやうでありますが栽培の仕方は千兩の方が餘程容易のやうであります。此頃市場では千兩の方を多く見受けるやうでありますから省略する事に致します。

三、やぶこうじ

是もすつゝ前ではありますが申した事があるやうに思ひますので只冬の赤い實を記しますに際し極簡單に申し

まして御利用に資したいと思ひます。

寒さに強く植ゑつけましてもあまり強光線の當らない所でさへありますれば極めて活著し易く且つよく實のつくものでありますから手に入り易いこの切少しでも植ゑておきたいと思ひます。しかしつき易い中にも土の凍結しない丈には保護してやらなければなりません。以後活著致しましたならば露地に植ゑ出しても鉢植にしても極めて丈夫で株もよく張ります。



大賣り出しあそび

東京女高師附屬幼稚園

神

原

き

く

五八

「賣り出しあそび」は幼児達に取つて最も楽しい遊びの一つです。何處かの組でうり出しがあるといふ事が分るこ、お休みして居る間に「うり出しやさん」があるといけな
いからこ、少々の風邪氣を押し切つて登園し、マ、を案じ
させるこいふ期待の仕方ですが、賣る方の側の楽しみは
更にこ非常なものです。賣る品々を製造する仕事ぶり
に、不斷には見られない熱意こよろこびがあります。活
動状態が、ぐつこ變つて参ります。

勿論この遊びのヤマは賣り出しそのもの、賣り出しその
日にありますが、賣り出し準備の幾日間は眞に幼児には樂
しい日々であります。我々は、この樂しさを助長し且つ意
義多い、價值高いものになければなりません。それには
出来るだけ多く幼児自身を働かせるこです。この遊び

が、幼児自身のものになる様に仕組まれるこです。幼兒
達が働く役割が多い程效果は上ります。この度は丁度町々
の歳暮大賣り出しのこきにならつて十二月の十日頃から
こりかゝりましたが、當園ではよく新入園兒を迎へた春の
終り頃や、學期末に開く行事であります。この度の経過
を述べて見ます。

相談會

土臺から幼兒達を働かせるがい。そこで、最初は相談
會です。みんな寄り集つた所で、

——今年も大賣り出しをしませう。

一言で、もう子供達はをきり上ります。此の組は昨年やつ
た經驗があるのです。買っただけの經驗でもいい、一度で

も「うり出し」に會つた事のある幼児に取つては此の言葉で十分です。始めてならば、種んな物を作つてよその組に賣つて上げる喜びを持たせるために、もう少し口添が必要ですけれど。

次に

——何のお店がいうでせうね

——子供の好きなお店はなあに？

玩具屋さんが、やつぱり眞先きに飛出します。人形やさん、新時代らしくラヂオやさん、蓄音機やさん、呉服屋さん、下駄屋さん、魚屋さん e.T.C. 言ひ出すものを黑板に書いてやります。何にしても玩具屋が「うりや」の焦點です。

——おもちゃやさんで、何んなもの賣りませうか——

——男の人達には何がいう？女の人には？——

「ケン」、「背囊」、「飛行機」、「飛行船」、「自動車」、「先生、兵隊ごっこ」の揃つたのがいゝよ、「お人形がいゝわ。——千代紙もね」、「風車」、「おもちゃ道具」、……。僕三輪車がいゝな「こんな大きな飛行機を作つてね……」

何時の間にか自分の欲しいものを、デパートでマ、にねだる氣になつたのが居る。こゝで氣づけを、

——幼稚園のおもちゃやさんは、みんなで作れるものよ、ぢやあね、何で作るか、考へて——

以上訂正整理しながら黑板に書いて来る。

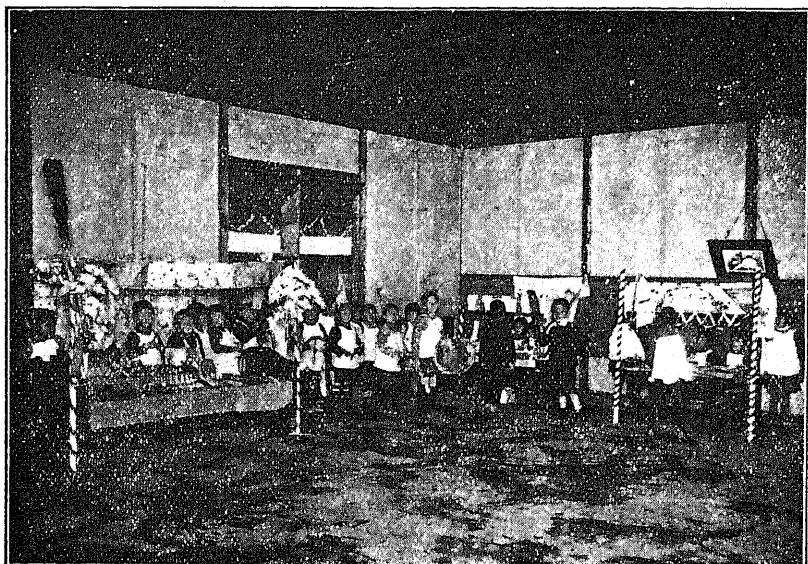
——こんなに澤山のお店はこのお部屋に並ばないから、後で先生がきめませうね。そして早く御用意してお店をはじめませう。

これで相談會は終る。この中から効果の上りそうな、し易さうな五店を商品を選定し、賣り出し日迄の準備、仕事の日程を編む。

商品 材料 作り方

一、おもちゃ

刀ミケン（新聞紙、ボール紙、銀紙、色模造紙）新聞紙一枚を二ツ折にして固く巻き締めたもの全面に、色模造紙又は銀紙を貼る。ボール紙につば形を書き與へて切り抜かせクレオンでつば飾りをしてさし込む。



肩章(ボール紙、色模造紙)ボール紙は一定の大きさに裁ちおく、赤模造紙を片面に貼りつけ黄色紙にて星、スヂを剪り貼りする。

勳章(畫用紙)騰寫したものゝ彩色して剪抜く。

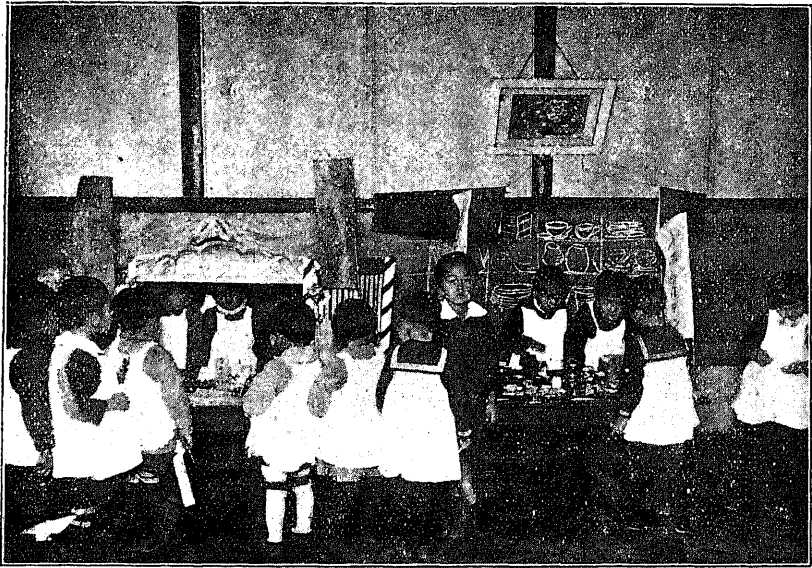
風車(畫用紙、きびがら、桐の實、ひご)いつも色紙を用ひて來たが特に畫用紙に試みた。クレオンで色彩模様に、まわしてきれいな色が出る様に、試めしつゝ塗る。

こま(畫用紙、桐の實、楊子)丸型、花型等に畫用紙を剪り抜き模様をかく。二枚合せ貼る。桐の實はトメに用ふ。

時計(ボール紙、畫用紙、ひも)ボール紙に型をかき與へ畫用紙にて數字板を作らせてはりつけチョコレートの銀紙でフチ取る、

人形(卵のから泥をのぐにて顔をかゝせ、つるす、モデルは出しておくが自由に。

羽子板(チリ箱のアカ、千代紙)あいたチリ箱をいさ鋸でひき千代紙をはる、



桃太郎の面(畫用紙)膳寫刷を塗つて剪抜く、桃太郎、犬

猿、獐、鬼の五種一組の童話面。

馬 (藤の葉柄)時折に拾ひ集めたもの、膳先生の「自然

物利用のおもち」より

二、下駄や

草履(ボール紙、色紙、ひも)ボール紙一枚を草履型に剪りぬき、一枚に色紙を貼つて、ひもで鼻緒をすける裏面に他の一枚をはり合せて出来る。

下駄(菓子タリ、薄い板ぎれにて)

つま皮(畫用紙の臺に、模様描き或は模様貼り)

スリッパ(ラシャ紙)

傘(きびがら、ひしこつほめてあるからかささいふ所、

きびがらにひしこの柄を通して、上に、小さく切つた紙をあてゝひもでしぼる。

三、家具屋

タンス・鏡臺机(マッチ箱利用、チョコレート銀紙、色紙)テーブル・椅子・机・ベッド(小さい紙の空箱利用)千代紙で鏡掛、白シンモスの小切に模様をかいいてテーブルクロ

ース、ベッドおほいを添へる、

四、吳服屋

既製品―紋付、きもの、エプロン色紙をきりぬき、模様づける。

反物（日本紙、タテに二つ切り）お人形の着物になるように注文して作らせる、半分は描き模様、他は芋はん、木の葉、切り抜き型などおいてきり吹き。板じめの様に疊んで角を繪の具でそめたりなど種々試む。ゴザの上に或は金網、バスケットの上に紙をのせてクレオンをこすりつけるに面白いカスリ縞が出来るこれを模様描きしたものに試みるに効果が大変よかつた、機械的工作に工夫をしろんだのだつた。

帶 反物と同様に試みた、（日本紙タテ六つ切り、或は畫用紙を同大に）

五、瀬戸物屋

食器類、（粘土茶碗、皿、きうす、土瓶、コーヒースェット。灰皿まで作る子供があつた。十分乾かしてからエナメルを塗る。

花びん（クリームのおきびん、その他口の廣い化粧びん）エナメルで色ぬり、乳白色の地色にエナメルは美しく塗上る。

準備の一週間

製作

相談の結果を日程に編んで材料などの手筈がつくまで製作にかゝります。準備の九割迄が商品の製造ですから、多忙を極めます。製作にかゝる前に、五店の經營をクヂ引きで割り當てました。斯うして店のはじまりから、賣り出しの終るまで、責任と權利を持たせます。店によつて手の要し方が違ひますから、必要の折は一同でお手傳ひをいふ事にします。澤山數を要するものは、このお手傳ひをいふ方式でクラス全體でやつて行きます。日程は子供に分るよう書き上げ、貼り出しておきます。出来上りの品種と數量は判然するよりグラフにその都度記入されて行きます。自分のお店で何が作られるべきかを知解して居りますので、うちから兄弟に手傳つてもらつてこさへて来る子があり、

「私の組お休みが多くて間に合はない」ご家でマ、やババの手を借りて、澤山製造して来る者もあります。よそのお店のものでも得意のものは作つて来て呉れます。四五日間は大変な忙しさですよ。お店つくり、

店作りは何より第一、押されてもくずれぬ安定さを要件としますので、安定ではあり且最も手の省ける幼児机を持ち出しました。机上に高低の陳列臺を作り、(積木を以て店の後になるボードを活用すれば縁日露店の程度にはまるりませうが、出来るだけ、奥行きもあり屋根もあるこいふ感じをこりたいと思ひます。材木屋から買入れた一寸角材ミ釘ミ紐を用ひ、後の壁側を支へましてそれで机上に柱様のものを打ち立て、看板をあける支へを作ります。これで大體屋臺をなしますから、陳列臺の汚ないものには臺紙を以ておほひ、柱には紅白の紙を巻きつけ、適當に品物を並びます。これで軒のれんを兼ねた看板を三方にめぐらすと相當景氣の良さそうなお店が出来上ります。

品物の豊富な、最も人氣のあらう玩具屋一店を中央に、兩側に通路をおいて家具屋、下駄屋、呉服屋、瀬戸物屋を並

べました。玩具屋には都合よく長椅子の臺が間に合ひました。御あつらへ向きに出来上つてゐるのです、こゝまでを賣り出しの前々日迄にやつて來ました。後一日で凡べてを整へねばなりません。組の缺席の子供に知らせの葉書をかゝせます。

賣價つけ お金のこゝ

賣價、お金のこゝに就いては随分考慮させられました。

當園は二年保育です。上級組では十以下の數は十分扱ひ得るさはいへ、それは數へるこゝ算用するこゝに専らな場合のこゝです。賣り買ひに夢中になつて居る時、お釣りの正確な勘定は望めません。併し下級組さへさも十の數は數へるだけなら大部分出來ます。そこで去年は一錢貨幣を鑄造して一同にこれを十個、即ち十錢だけ持たせ(厚畫用紙に赤紙を貼り、丸く打ち抜いたもの)、同じ打抜の丸を定價の數だけ定價票にはりつけ、其の下にセンの半版を捺しました。但し、去年は小範圍に賣つたものでした。それが割合に好成績に參りましたから、本年もこの式になつたのでありますが、この度は一人の購賣高を五錢とし、一錢を五

個渡しました。賣價は五錢以下です。賣價表を示します。

| 品物 | 單價(セン) | 個數 | 小計 |
|-------|--------|----|----|
| 刀、ケン、 | 〇〇〇〇〇 | 五 | 一五 |
| 肩章 | 〇〇 | 二 | 五〇 |
| 勳章 | 〇 | 一 | 四五 |
| 風車 | 〇〇〇〇 | 四 | 三六 |
| こま | 〇〇 | 二 | 五〇 |
| 腕時計 | 〇〇 | 二 | 二〇 |
| 卵人形 | 〇〇 | 二 | 三二 |
| 羽子板 | 〇〇〇〇 | 四 | 八 |
| 桃太郎の面 | 〇〇〇〇〇 | 五 | 二〇 |
| 面一個より | 〇 | 一 | 二〇 |
| 馬 | 〇〇〇 | 三 | 二五 |
| 草履 | 〇〇〇 | 三 | 四〇 |
| 下駄 | 〇〇〇〇 | 四 | 一〇 |
| つま皮 | 〇〇 | 二 | 二〇 |
| スリッパ | 〇 | 一 | 三〇 |
| 傘 | 〇 | 一 | 五〇 |

| | | | | |
|-------|-----|---|-------|----|
| タンス | 〇〇 | 二 | 五 | 一〇 |
| 鏡臺 | 〇〇〇 | 三 | 一〇 | 三〇 |
| 椅子 | 〇 | 一 | 二〇 | 二〇 |
| テーブル | 〇〇 | 二 | 一五 | 三〇 |
| ベッド | 〇〇〇 | 三 | 一四 | 四二 |
| 紋附 | 〇〇〇 | 三 | 二六 | 七八 |
| エプロン | 〇 | 一 | 一七 | 一七 |
| 反物 | 〇〇 | 五 | 五八 | 一六 |
| 帶地 | 〇 | 三 | 三〇 | 三〇 |
| 花瓶 | 〇〇〇 | 二 | 二二 | 六六 |
| 茶碗、皿等 | 〇 | 七 | 七一 | 七一 |
| 商品總高 | | | 一五、三五 | |

購買力總計と品數品種を考慮して各賣價を定めます。

このクラスには各十五錢を、他の五組には五錢宛、各組三十人、合計高「拾貳圓也」。商品總高は拾五圓參拾五錢。幾分の餘裕を見ておく必要があります。この組に一躍拾五錢を持たせた事は少し大過ぎたでせうか。折角一生懸命作ったものを、買った後に持つて遊ばれるものです、この子達

に買はせたいやりたいを、私共のボン慾が出たそれ丈の理由です。買はせてやりたいやうなものは高價にしておきました、最大限の五錢に、五錢にしておけば他の組の子供は買はないだらう、たつた一つよりも、外にいろんな物があるのだから、種々他のを買ひ合せて行くに違いないと思ひましたので。併し事實は豫想を外されました。たつた一品でも、ねらひ頗つて買はれてしまつたんです。これ丈は意外でした。この組は一等最後に買ふ事にしてあつたのです。

あゝは最後の飾りつけ、宣傳等が残つて居る許り。保育室の入口に裝飾をして「大うり出し入口」を張り出し、各店に「大ウリダシ」の幟をたてます。
宣傳、ポスター、ビラ、案内狀

大きな模造紙、壁紙にポスターを書きます。筆を振つて「大ウリダシ」を書きます、繪の得意の子供は、片方からポスターカラーで繪を入れて行きます。小さいビラは一同揃つて書きました。「日」「場所」「大ウリ出し」を入れる様に要項だけ注文するをなか／＼ふるつた文句や繪を入れ

るのが居ります。

オコサマガタノ　オヨロコビ　大ウリダシ　バンザイ
オコドモサマノ　オタノシミ　大ウリダシ

これを廊下にはり出す。撒いて歩く。

同時に各組に案内狀を五錢宛入つたがま口を届けますがま口は摺み方で摺む大變簡單なもので済ませました。このお金で買ひに來て下さる様案内狀には書き添へてあります。

いよく「賣り出し」

前日の宣傳が利いてお客様達は十二時の開店を待ち遠がつてくれる。まだか／＼催促に來る。組の子供は今朝より早く、たつた一人病氣他は皆出席しました。最早、用意萬端整つて居る。今朝は愉快に、落ち付いて、もう一度店を品物を見廻はさせ、うり出しについての注意を與へ、細かい割役を一人々々にのみ込ませます。十一時に晝食を早めて、場内の清掃をへるさいよく十二時、運動會に用つた樂隊で、チンドンヤの一行が「大うり出

し」轎を後前に園内を案内してまわる。待ち構へたお客様がぎつぎ押しかける、各商店から撰拔された整理掛りがまごつく。

——イラッシャイ—— 大ヤスウリ！

——サア、イラッシャイ——

——クダサイナ——

——コチラヘモキテクダサイ、大ヤスウリ——

女兒も男兒も大聲をあけて居る、うり聲も客呼びもなかなか上手です。一巡二巡、めぐりをへたチンドンヤが歸つて來て一層はやしたてる。そのにぎやかなこころ。

*

*

*

一時半、第一日の店を閉ぢる。あゝで、金庫を開いてしらべましたら、餘りに勘定が合はな過ぎます。「お負けしきませう」ミ氣前のいゝのが居たので豫算が食ひ込んでしまひました。第一日は小さい組の人達だけがお客様でした。

店をミゝのへ直して第二日のうり出し、今日は大きい組のお客様。お客様の方は一日「お預け」をさせられただけに

期待し意氣込んでやつて來たが、當方は昨日に増す程の元氣が出なかつたのは、自分達が買ひたい、いゝ物がなくなるに案じたせいとか、或は興奮のくり返しを要求するのが無理だつたのかも知れません。うり出しは一日を一ぱいに樂しみ切つて終つた方がよかつたと思ひます。組の子達の買つたものはあはれを感じた残り物でした。それでも子供は不足さうでもなく、賣つた事の満足の外に買ひ得たうれしさも十分持つた様子でした。

翌日きいてみました。賣るのミ買ふのミどちらが好きか。男の子の多くは賣る方が好き。「ちつこも買へなくていゝの」つてきゝまして、關はないといふ子が多數でした。女の子の過半は買ひ好きといふ答。女が慾だといふ事になるか否かは、これ丈からは判斷しかねます。

經濟的に

諸事節約の時節柄といふ理由ではありませんが、結構なるべきうり出し遊びも、組の小さい會計には随分こたへるのです。ぎさつミ費用をこりますから。計畫のはじめに

當つて條件を三つ立てました。これを成るべく多く含んだものを取つたのでした。

一、成るべく費用を取らなくて済むように。ためには不用品自然物を利用すること。

二、成るべく買つたもので遊ばれるようなもの。

三、製作が價值あるもの。製作することが幼児を益するもの。

不用品材料アキビン、卵のカラ、マッチ箱、チリ箱、アキ箱等は日々幼児に申しつけて持つて來させました。金を拂つて買入れた材料費は次の如く三圓十三錢でした。

| | | |
|------|-------------------|-----|
| 茶ボール | 五枚 | 二五錢 |
| 畫用紙 | 一五枚 | 六〇 |
| 日本紙 | 二疊 | 一六 |
| 大和のり | 大 ⁴ 八個 | 五二 |
| 櫻のり | 一個 | 二〇 |
| 色模造紙 | 三〇枚 | 三〇 |
| 運算用紙 | 二疊 | 一〇 |
| 楊子 | 一束 | 一〇 |
| 角材 | 五本 | 六〇 |

緒ミシン 一個 三〇

合計 三、一三

省みて

計畫のはじまりから店の終る迄が十日間、最初の相談日曜日を除くミ本當に準備に要したのは五六日でした。兩三回の經驗から考へるミ、餘り長時日をかけるミだれまじし、仕事又仕事ミ追はれる程短か過ぎては、荷がから過ぎて面白さが減ります。そしてよくはありません。十日から二週間くらゐが最も良ささうに思はれますが如何でせうか。もつとも、私共の幼稚園では三十人の幼児に、實習科の生徒が居りますので先生の手が十本あるわけです。標準にはなりますまいが。五軒もの數にせずとも大賣り出し氣分は出ませうし、おもちゃや一店だけで、これに全力を傾倒して、さかんな賣り出しも亦面白いものです。お砂場の團子屋さん、粉屋さんがあれ程面白い幼児です。觸つてもつぶれない、吹いても消えて行かない實質あるものを商はせてもらつたら、有頂點によるこぼ簀です。子供達のために、時々のお試みを願ふ次第であります。

餅つき

♩ = 96

オ シャ ウ ガ ツ ノ オ ソ ナ ヘ ニ

ソ コ デ モ コ コ ジ モ モ チ ラ ッ ク

ボッ テン ボッ テン ボッ テン ボッ テン

ヒ ャ ウ シ モ ラ カ シ イ キ ネ ノ オ ト

六八

餅つき

お正月のおそなへに

そこでもここでも

餅をつく

ボツテンボツテン

ボツテンボツテン

ひやうしもをかしい・

きねの音

餅つぎ

土 川 五 郎

この歌曲は大阪市東區保育會の撰まれました唱歌集の中からボタン／＼をベッタン／＼こいたしました。

お……右足をあげ右手を顔の前に掌下に指先を左にしてあげるさき左手を右手の下に掌を上にして受ける如くす右手さ

左手さは顔の長さ位に離しそれをのぞき込む様にする

しやう……右足を下ろし左足をあぐるさき右手さ左手をさりかへて左上上に(掌下)右手を下に(掌上)す

がつ……おさ同じくす

の……「しやう」さ同じくす

おそなへ……左足を引きてかがみつゝ兩手指先を向ひ合せる様に體前に持ち來り兩手にて小さいおそなへを描いて終り

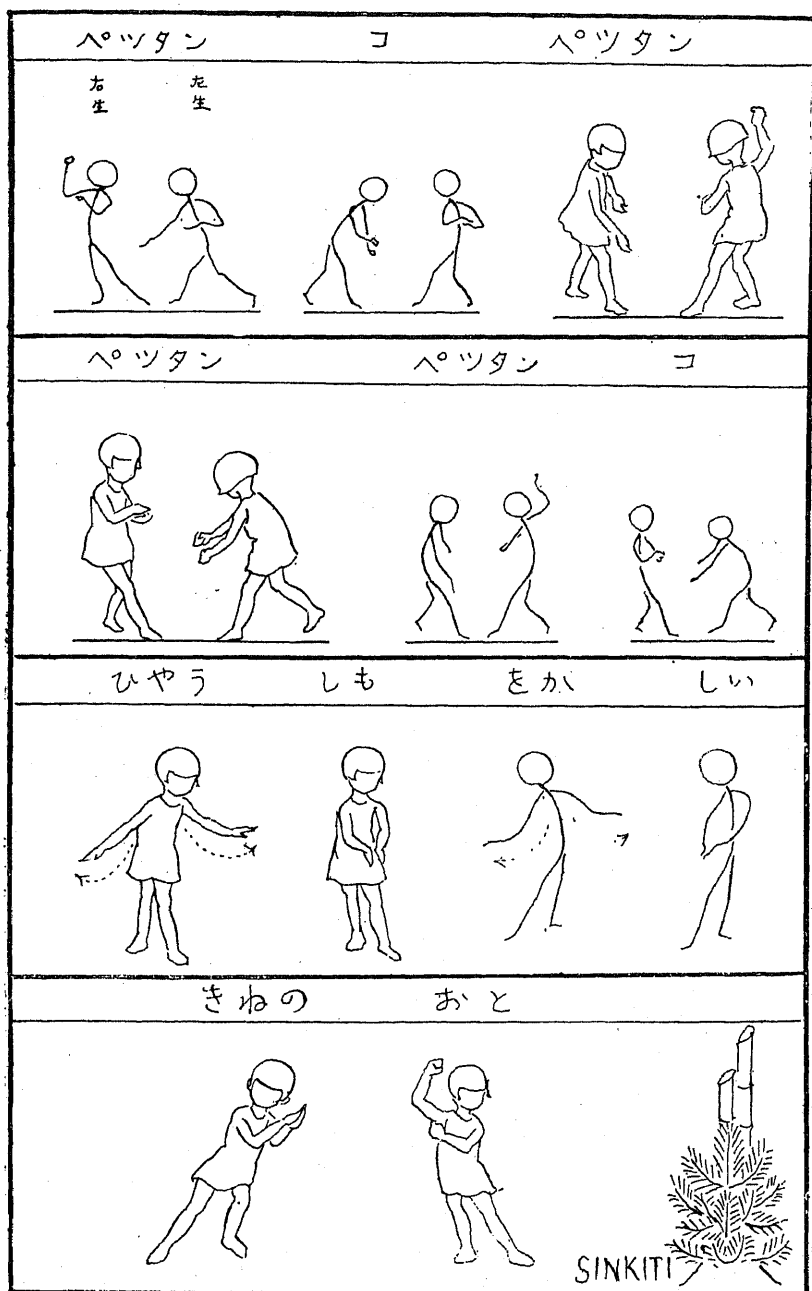
に兩手を胸前にて交叉する如くす

に……兩掌を上にして指先を左右に向けて左右に平らに開く

そこでも……立ちて左食指にて左方を指すこさ二回

ここでも……右食指にて右方を指すこさ二回

もち……左足を右足の右へ送り(右まはりの第一歩)右拳を體前にて上より下へまつすぐに搗く時左拳をやゝ上にあぐ



| | | | |
|------|-----|------|---|
| お | しゃう | かびつ | の |
| | | | |
| おそなへ | に | そこでも | |
| | | | |
| ここでも | もち | を | つ |
| | | | |
| ペツタン | | コ | |
| | | | |

をつ……右まはりしつゝ左拳にてまつすぐにつく時右拳を少しく上ぐ

く……正面になり右拳にてつき左拳を上ぐ

ベッタン……兩手にて杵の柄を握り振り上ぐ

コ……にて餅をつく

ベッタンコ……同じくす

べったん……左脇を曲げ左掌を上^へに受ける如くし 右足を出す時右手を體前斜下方に掌を下にしてすべり出す様にのばす

(手がへしをする)

べったん……右掌にて左掌を打つ(左脇は左横腹近くに固定す)

べったん……手がへし一回

コ……右掌にて左掌を打つ

ひやう……左足を斜左に出し其方を見る時兩手を左右に開く

しも……出したる左足を床につける時兩手を軽く上より體前へ持ち來りて拍手一回

をか……右足を斜右に出す時兩手を開く

しい……拍手一回

きねの……左足に體重を托し上體を左方に傾け兩手の左耳の左にて拍手三回

おこ……兩手を體前下方より左上に振り上ぐる時右足を右方へ強く床を打ち 體重は右足に移り左踵をあげ左肩を下けて

左下方へ顔を向け兩手は握りて杵^ねを振りあげた姿勢を取る

◎注意ベッタン以下前記の餅をつき手がへしをする所は一般練習にして熟したる時は逆に手がへしを先きにし餅をつく事をあきにして更に熟したる後 右生左生にて分擔し右生餅つき左生手がへしをなすを本體とす

雜 錄

○東京女子高等師範學校保育

實習生徒募集

—— 昭和七年一月九日の官報より ——

- 一 入學セシムヘキ生徒ノ概數 凡二十四名
- 二 學 資 學資ハ總ヘテ自費トシ 授業料年額金五十五圓ヲ徵收ス
- 三 入學資格 本科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ニ該當スル者タルヘシ
 - (一) 身體健全品行方正ニシテ 保姆タルニ適當ナリト認ムル者
 - (二) 左ノ資格ノ一ヲ有スル者但1又ハ2ノ學校ニ在學スル者ニシテ 當該學校長ニ於テ 本校ノ入學期以前ニ卒業スヘシト認メタル者ハ 當該學校ノ卒業者ニ準スルコトヲ得
- 1 師範學校又ハ高等女學校ノ卒業者
- 2 專門學校入學者檢定規程ニ依リ 卒業者ニ就キ一般ノ專門學校入學ニ關シ 修業年限四ヶ年以上ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トシテ 文部大臣ノ指定ヲ受ケタル學校ノ卒業前
- 3 前項ノ 外專門學校入學者檢定規程ニ依リ 一般ノ

專門學校入學ニ關シ無試驗檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者

4 專門學校入學者檢定規程ニ依リ 試驗檢定ニ合格シタル者

(三) 昭和七年四月一日ニ於テ年齡十六年以上ニシテ

夫ヲ有セサル者

四 出願ノ手續

(一) 三ノ(二)ノ1又ハ2ニ該當スル入學志願者ハ出身學校長又ハ當該學校長ノ推薦ヲ要ス

出身學校長又ハ當該學校長ニ於テ入學志願者ヲ推薦セラル、トキハ推薦書ニ別ニ定ムル様式ニ依ル入學志願者・履歷書・戶籍謄本・學業成績調查及人物考定書・身體檢查書・寫眞・手札形、半身正面、提出前三箇月以內ニ單身身撮影シ 臺紙ニ貼付シタルモノニシテ其裏面ニ志願科氏名及撮影年月日ヲ記載シタルモノ) 及入學檢定料(志願者一人ニ付金三圓、現金 朝鮮銀行券及臺灣銀行券ヲ除ク) 又ハ郵便小爲替證書ヲ添ヘ出願期間內ニ於テ本校ニ送致セラルルカ又ハ出願期間內ニ到達スルヤウ價格表記郵便(トキハ此ノ郵便ニ限ル) 又ハ書留郵便ヲ以テ本校ニ送付セラルヘシ

推薦書・入學志願票・履歷書・學業成績調查及人物考定書竝ニ身體檢查書ノ各記入用紙ハ本校ヨリ交付スヘ

キニ付本校ニ就キ所要數ヲ受領セラルルカ又ハ本校ニ對シ郵便ヲ以テ所要數ヲ請求セラルヘシ

(二) 三ノ(二)ノ3又ハ4ニ該當スル者ハ直接本人ニ於テ四ノ(一)ニ記載セル書類(推薦書ヲ除ク)寫眞及入學檢定料ヲ出願期間内ニ本校ニ送致スルカ又ハ出願期間内ニ到達スルヤウ價格表記郵便又ハ書留郵便ヲ以テ本校ニ送付スヘシ

四ノ(二)ニ記載スル書類(推薦書ヲ除ク)ノ各記入用紙ハ本校ヨリ交付スヘキニ付本校ニ就キ之ヲ受領スルカ又ハ本校ニ對シ郵便ヲ以テ之ヲ請求スヘシ此ノ郵便ニハ返信用ノタメ宛名(住所氏名)ヲ詳細ニ記載シ且貳錢切手ヲ貼付セル封筒(半紙版ノ從四ツ折ノ大ナルモノ)ヲ封入スヘシ

(三) 入學志願者ニシテ現ニ教職ニ在ル者、服務年限中ノ者ハ四ノ(一)又ハ(二)ニ記載セル書類ノ外監督長官ノ承認書ヲ添付スルヲ要ス

(四) 入學志願票ニ記入セル事項ハ出願手續ヲ履ミタル後ニ於テハ何等ノ事情アルモ之ヲ變更スルコトヲ得ス但再ヒ四ノ(一)又ハ(二)ノ手續ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

(五) 入學志願者ハ出身學校長又ハ當該學校長ノ推薦ヲ受ケタルトキ又ハ本人ニ於テ出願ノ手續ヲ履ミタルトキハ自ラ本校ニ就キテ受験票及受験者心得ヲ受領スルカ又ハ郵便ヲ以テ其ノ交付ヲ請求スヘシ此ノ

郵便ニハ返信用ノタメ宛名(住所氏名)ヲ詳細ニ記載シ且參錢切手ヲ貼付セル封筒(普通ノ日本封筒ヨリ稍大ナルモノ)ヲ封入スヘシ

五 出願期限

出願期限ハ昭和七年一月二十日ヨリ三月十日マテトス

六 選拔試驗・身體檢査・口頭試問

(一) 選拔試驗

1 選拔試驗ハ二次ニ分チ之ヲ施行ス第一次ハ全志願者ニ對シ國語・理科・圖畫ニ就キ之ヲ行ヒ第二次ハ第一次ニ合格シタル者ニ對シ音樂・身體檢査並ニ口頭試問ニ就キ之ヲ行フ

2 日 時

選拔試驗ハ左ノ日時ヲ以テ施行ス

第一次昭和七年三月十八日

國語 (解釋・作文)

理科 (動物)

圖畫 (自在畫)

第二次昭和七年三月十九日

音樂(唱歌) 身體檢査並ニ口頭試問 午前九時十分ヨリ

分ヨリ

3 場所 選拔試驗ハ本校ニ於テ之ヲ施行ス

(二) 第一次ノ結果ハ三月十九日午前九時本校事務所

前ニ發表シ別ニ通知ヲ發セス

七 雜 件

(一) 受験者ハ昭和七年三月十七日午前九時ヨリ午後四時マテノ間ニ於テ本校ニ出頭シ諸事承合スヘシ
(二) 選拔者氏名ハ昭和七年三月二十日午前十時頃本校事務所前ニ發表シ別ニ通知ヲ發セス

○「保育研究」の創刊

今一月、東京市外龜戸町五丁目六三番地の保育研究社から創刊された。觀察・手技・唱歌・談話等の保育項目の研究、論說等を掲載。保育界のため、本誌の發展を祈る。

保育實習科新卒業生

本年三月當校保育實習科ヲ卒業スベキ見込ノ者左表ノ通ニ有之貴公私立幼稚園及ビ託兒所ニ於テ保姆トシテ御採用ヲ得バ幸甚ノ至ニ候御採用ノ節ハ當校附屬幼稚園宛ニ御申越下サレ候様致度此段御照會申上候
昭和七年二月

東京女子高等師範學校

出身・學校・校氏名・族籍・生年月日

東洋高等女學校 青木 淑 東京府 二、七、二三
山梨縣立甲府高等女學校 一木つや子 山梨縣 三、七、八

| | | | |
|-------------------|-------|-----|---------|
| 福岡縣立福岡高等女學校 | 入澤 正子 | 福岡縣 | 三、八、二七 |
| 德島縣立德島高等女學校 | 大村ヒサ子 | 德島縣 | 二、三、三六 |
| 新潟縣立新潟高等女學校 | 萱野 カヅ | 新潟縣 | 三、七、二三 |
| 栃木縣立足利高等女學校 | 川田富久子 | 栃木縣 | 三、七、二六 |
| 東京女子高等師範學校附屬高等女學校 | 河合 妙子 | 東京府 | 二、七、二六 |
| 東京府立第五高等女學校 | 桑 富子 | 東京府 | 二、九、二六 |
| 山梨縣立甲府高等女學校 | 小林 菊子 | 山梨縣 | 二、一三、二三 |
| 兵庫縣立第一神戶高等女學校 | 澤 美代 | 兵庫縣 | 四、一、二九 |
| 山口縣立下關高等女學校 | 澤村 カヨ | 山口縣 | 二、二、二三 |
| 岩手縣立盛岡高等女學校 | 周藤 靜枝 | 島根縣 | 三、九、二六 |
| 双葉高等女學校 | 杉浦 靖子 | 東京府 | 三、一、一五 |
| 東京女子高等師範學校附屬高等女學校 | 高島 ミツ | 富山縣 | 二、一〇、一五 |
| 靜岡縣立靜岡高等女學校 | 中岡 文子 | 東京府 | 二、九、二三 |
| 東京府立第六高等女學校 | 野々山さみ | 靜岡縣 | 四、二、二六 |
| 大妻高等女學校 | 橋本 幸子 | 岡山縣 | 三、一、一七 |
| 青山學院高等女學部 | 早川 いこ | 茨城縣 | 三、八、二三 |
| 櫻蔭高等女學校 | 廣津 清 | 福岡縣 | 二、八、二六 |
| 和歌山縣立和歌山高等女學校 | 松本 正榮 | 香川縣 | 二、七、二四 |
| 東京府立第五高等女學校 | 宮本 光代 | 和歌山 | 三、一、一一 |
| 京城第二公立高等女學校 | 山口 操 | 東京府 | 二、九、二八 |
| 東京府立第三高等女學校 | 山田 靜子 | 岐阜縣 | 二、九、二三 |
| | 遊佐 百合 | 東京府 | 二、九、二八 |

新幼稚園唱歌講習會

期 日

二月二十七日(土)
三月五日(土)
三月十二日(土)

午後一時半より四時まで

場 所

東京女子高等師範學校講堂

唱 歌

東京音樂學校內日本教育音樂協會新編纂幼稚園唱歌約二十篇

講 師

東京音樂學校教授

船 橋 榮 吉 氏

會 費

金 壹 圓 五 拾 錢

會員ニ限り曲譜集「エホン ショウカ」ニ割引

申 込

二月二十五日まで、本會宛

(會費は申込みと同時に日本幼稚園協會振替)
(口座東京一七二六六番にお拂込下さい)

此の新幼稚園唱歌は日本教育音樂協會の長き努力によつて編纂せられたもので各篇皆東京音樂學校關係諸氏の作曲によるものであります。幼稚園唱歌新材料の要求の頻りなる時之れが普及の一助として同協會の賛同の下に此講習會を計畫しました。講師は特に斯道の大家船橋榮吉氏を煩はし懇切なる指導を願ひます。幼稚園關係者諸君の多數御來會を切望します。

昭和七年 一月

東京女子高等師範學校內

日 本 幼 稚 園 協 會

定 規 文 注 告 票

一、幼稚園及び小學校、家庭、育兒、看護等に關する論說
調査研究等の寄稿を歓迎いたします。

一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字
下げること、また句讀點は一字あけること。

一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新
刊書、交換雜誌、入會手續、更に

本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切
左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内 日本幼稚園協會

一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵
券代用の場合には總て一割増）

一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七
二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。

一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せ
られたし。

一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特
に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。

一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封
に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送
金を願ひます。

一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひ
ます。

價 定

| | | |
|--------|--------|------|
| 一ヶ月分一冊 | 金參拾五錢 | 送料壹錢 |
| 半ヶ年分六冊 | 金貳圓拾錢 | 送料共 |
| 一ヶ年拾貳冊 | 金四圓貳拾錢 | 送料共 |

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和七年一月十二日印刷納本
昭和七年一月十五日發行

幼兒的教育 第三十二卷第一號

不 許 複 製 禁 轉 載

編輯兼發行所
東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
倉橋惣三

印刷者
東京市本郷區駒込林町百七十二番地
柴山則常

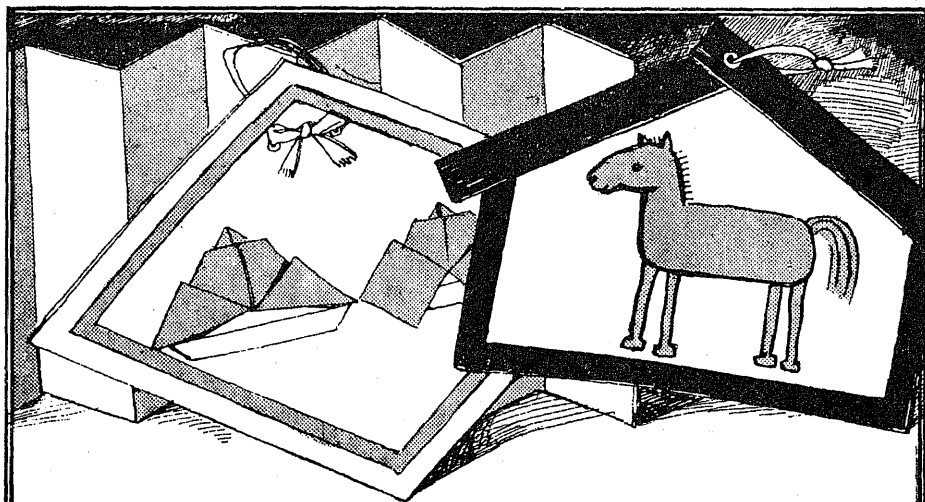
印刷所
東京市本郷區駒込林町百七十二番地
合資會社 杏林舍

發行所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内 日本幼稚園協會 振替口座東京一七二六六番

告 廣

| | |
|-------------|------------|
| 特等面一頁 金參拾圓 | 二等面一頁 金貳拾圓 |
| 一等面一頁 金貳拾五圓 | 一頁以下御斷 |

神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい。



たゞ今御用意遊ばすべし

手技材料・表簿類・保育證

◇繪馬類——幼兒が明かに微笑む手技の一つ。

五十枚 金 一圓

◇菱 形——菱餅風に赤白草の三色のボール紙を重ねた台紙、縮縮摺紙で圖の如く雛を折つて貼付する男女兒共歡ばれるもの。

紙 五十枚 金 一圓五十錢

縮縮摺紙 大形(15cm×15cm)百枚包一把 金 五十錢
中形(12cm×12cm)百枚包一把 金 三十錢

◇屏風形——お雛さまにお人形遊び等に用ひらるゝボール紙製六曲金屏風、貼紙・クレヨンで桃の花・櫻等を描いて妙

五十枚 金 一圓五十錢

◇出席簿用紙——百枚 金 一圓二十錢

◇豫定案兼日誌——百枚 金 一圓二十錢

◇在籍簿用紙——百枚 金 一圓四十錢

◇月謝袋——百枚 金 一圓四十錢

以上何れも強靱な厚めの紙を使用した便利なもの。

◇保育證書——厚めの堅緻な而も強靱な紙に麗しい金刷輪廓、文字を墨色に表した壯麗なもの。

御注意 御園名入りの御註文は即刻！二月以後は貴需に應じ兼ねる憂があります。

保育用品製造發賣元
キンダーブック發行所
株式会社 フレーベル館
東京市神田區一ツ橋通町30番地 教育會館内
電話 九條(33) 神田(38) 27・3488・3637・3638
〇〇〇〇 販賣口座 東京 19640 〇〇〇〇〇

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(毎月一十十五日發行)

昭和七年一月十二日印刷納本
昭和七年一月十五日發行

定價三十五錢